

10:00までお待ちください

東京都中小企業診断士協会中央支部 第14回支部大会

1	開会宣言	副支部長 磯山 隆志
2	所定手続	
3	支部長挨拶	支部長 高橋 利忠
4	2024年度事業報告	各事業担当者
5	決算報告・内部監査委員報告	経理部長 金子 和博 / 監査委員 鳥居 経芳
6	支部表彰者発表について	
7	2025年度支部事業方針	支部長 高橋 利忠
8	2025年度事業計画	各事業担当者
9	2025年度予算報告	経理部長 金子 和博
10	コンプライアンス研修について	コンプライアンス室 大野 進一
11	質疑応答	
12	閉会宣言	支部長 高橋 利忠

開会宣言

物故者黙禱

所定手続き

2024年度事業報告 会員入会状況

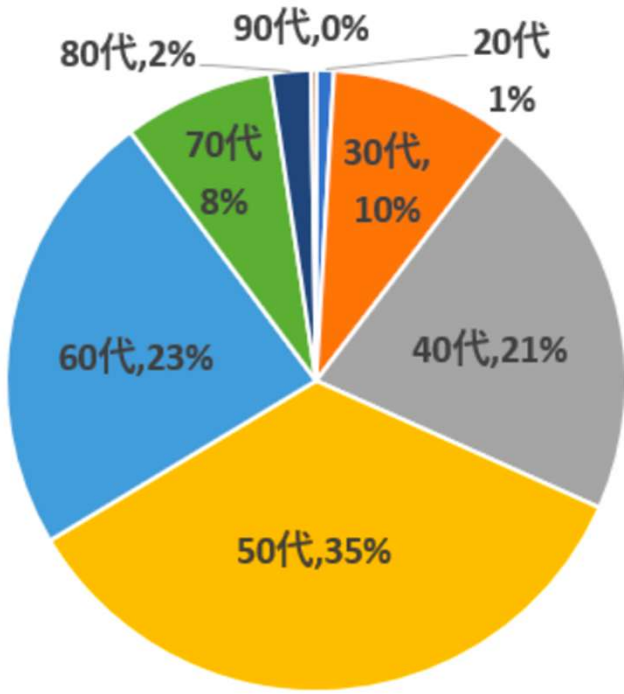
会員数推移（3月末時点確報値）

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末在籍	1,526	1,556	1,565	1,573	1,581	1,587	1,591	1,594	1,596	1,600	1,602	1,534
入会等	29	35	11	9	9	8	8	9	5	6	2	8
移籍増	4	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	1
退会等	-14	-3	-1	-1	-1	-1	-2	0	-4	-2	0	-62
移籍減	-4	-2	-2	-1	0	-1	-3	-6	-1	0	-1	-6
みなし退会	-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-9

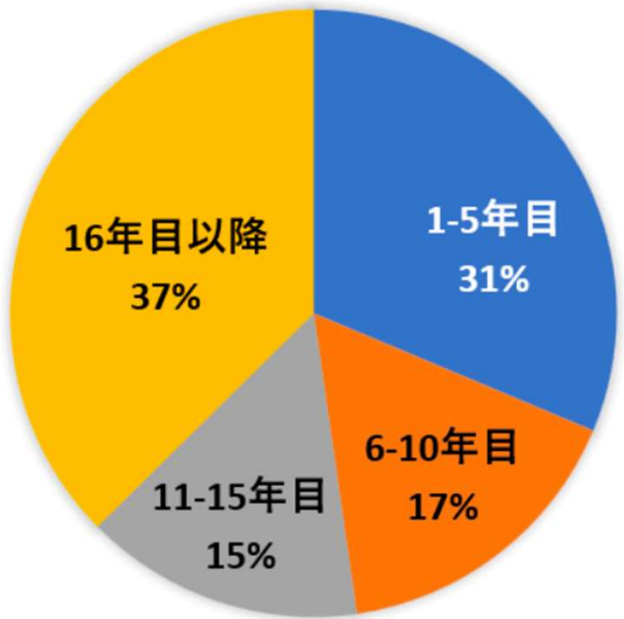
2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末在籍	1,548	1,576	1,588	1,599	1,605	1,608	1613	1625	1627	1632	1639	1574
入会等	33	28	14	13	7	3	10	13	8	7	10	8
移籍増	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2	0	1
退会等	-15	-1	-2	-1	0	0	-2	-1	-5	-2	-2	-62
移籍減	-5	0	0	-2	-1	-1	-3	0	-1	-2	-1	0
みなし退会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-12

2024年度事業報告 会員入会状況

年代別



診断士登録年別



顧問・政策委員の紹介

支部長挨拶

2024年度【基本方針】

【基本方針】

テーマ：「挑戦」

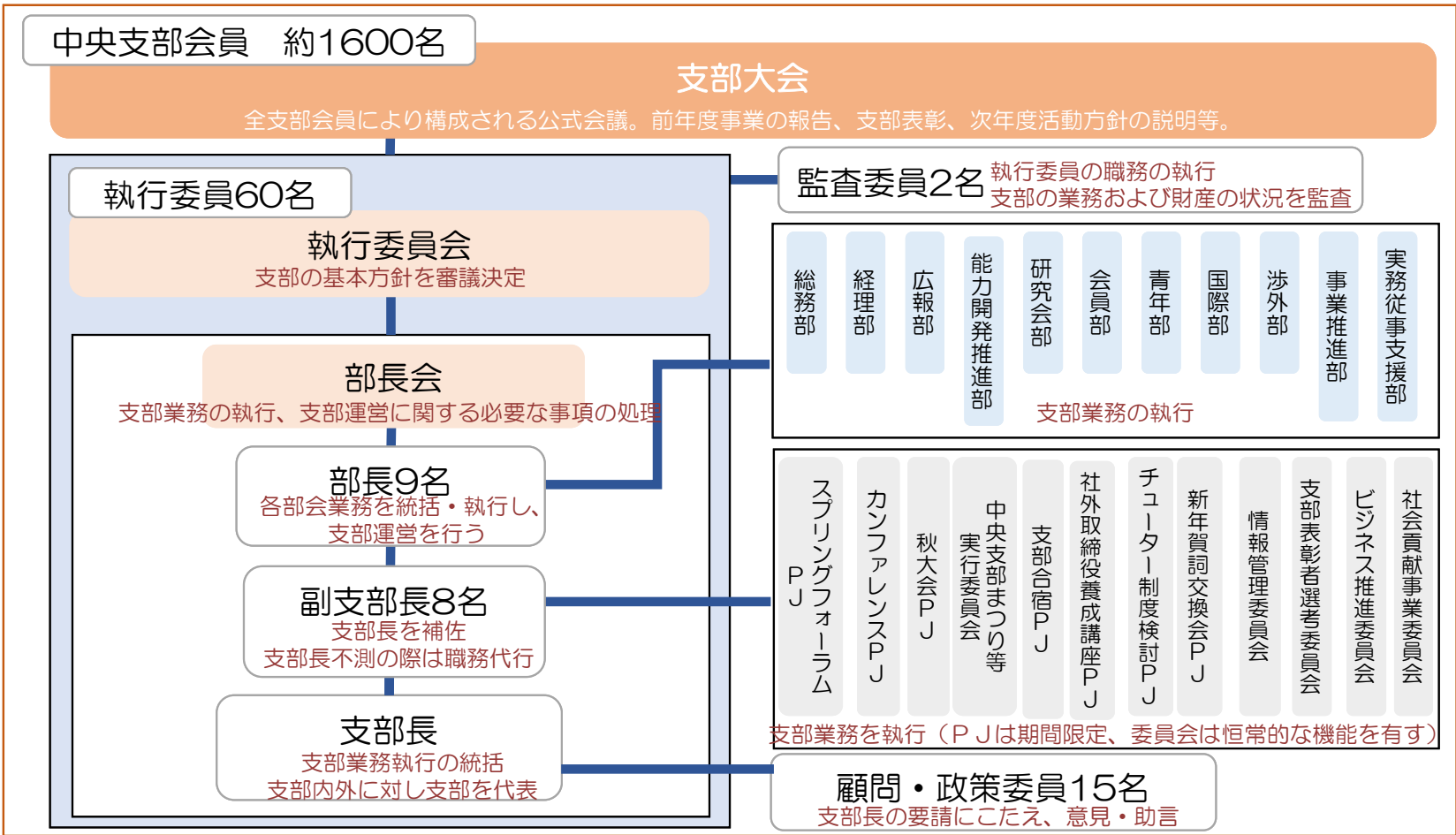
新たな取り組みにチャレンジして、支部活動の活性化、診断士の知名度向上を図り、会員増強を目指します。会員満足度向上につながる魅力的なコンテンツを提供し、ビジネス機会の拡充に努めます。

KPI：会員数（2026年3月末、1,700人）
（チャレンジ目標は2,000人）

続く

2024年度【活動方針】

【執行体制の概要と役割】



続く

2024年度活動指針

【活動指針】

- ① **支部会員増強**のための新たな取り組み
 - ・ 社外取締役養成講座やチューター制度の新設などにより、**中央支部の魅力高め会員増強を目指す**。中小企業診断士に求められる知識やスキルの向上、施策の情報提供等のイベントやセミナー、研修等を各部において充実させる。
- ② **ビジネス機会の拡大**および**ダイバーシティ運営、社会貢献活動の推進**
 - ・ 東京協会公募案件への協力や外部支援機関、4区診断士会等との連携を通じて、ビジネス機会の拡大を図る。**企業内診断士などにも配慮し、診断士活動に制約のある会員でも活動しやすいビジネス機会を提供していく**。中央支部の人的資源を活用しつつ、ビジネス機会を通じた中小事業者への支援等により、診断士の知名度向上を図り、社会に貢献していく。

続く

2024年度活動指針

【活動指針】

③ 会員同志のコミュニケーション機能の充実

- ・ 人脈形成・拡大に資する機会として、イベントや認定研究会・マスターコース、4区診断士会、部会活動等への参画を促すことで会員同士の交流を深める。特に新入会員に対して新設のチューター制度や個別相談会などにより相談できる機会を増やし、コミュニケーション機能を充実させる。

④ 支部会員の健康増進

- ・ 支部会員が健康的に活躍できるよう、健康増進施策を検討・実施する。会員向けに定期的な産業医カウンセリングを検討（実施）するほか、健康増進に資するイベント活動・同好会活動に対する活動費支援を検討する。ファミリーイベントも実施する。

続く

2024年度報告【活動指針と実績】

- ① 支部会員増強のための新たな取り組み
 - ・ 社外取締役養成講座：6月8日に講座開講。第一期生35名
 - ・ チューター制度新設、同好会規程を新設
- ② ビジネス機会の拡大およびダイバーシティ運営、社会貢献活動の推進
 - ・ 東京協会等ビジネス案件推薦…17案件延べ226名が従事
 - ・ 4区診断士会&中央総研連絡会議4回
- ③ 会員同志のコミュニケーション機能の充実
 - ・ 中央支部サイトをリニューアル（令和7年3月に完成）
 - ・ 3月時点の研究会16、マスターコース15
 - ・ チューター制度を開始
 - ・ 新年賀詞交歓会を開催
- ④ 支部会員の健康増進
 - ・ 同好会の新設促進（7同好会が新設）

2024年度報告【活動方針と実績】

項目	実施内容等
体制	■ 執行委員60名 ■ 部会（11） ■ 設置プロジェクト（7） 委員会（5）
会議開催	■ 支部大会（1） ■ 執行委員会（5） ■ 部長会（12） ■ 顧問・政策委員会議（1）
外部連携・関係団体	■ 中央支部認定研究会（16） ・新設（1）、解散（0） ■ 中央支部認定マスターコース（15） ・新設（0）、解散（0）
	■ 4区診断士会 ・（一社）ちよだ中小企業経営支援協会 ・NPO東京都中央区中小企業支援センター ・NPO東京都港区中小企業経営支援協会 ・NPO文京区中小企業経営協会 ■ 4区診断士会・中央総研連絡会議4回開催

2024年度報告【反省点】

社外取締役養成講座の運営で不備

- 当初、一般会計で会計処理しようとした。
（最終的に、収益事業として処理）
- 都協会が広告を使い他県協会の会員を勧誘するのは如何なものか。
- 協会主催の講座が特定受講生個人の社外取締役就任をプロモートするのは不適切ではないか。
- 稟議書対応の遅れ。
- 中央支部のガバナンス不全。

2024年度事業報告

目的：中央支部会員強化の重要な取組みの一つと位置づけ、他プロジェクトや部会と連携して、新入会員の獲得を図る。

①日時：2024 年4 月6 日（土）13:00～18:45（受付開始 12:00）

②場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

③参加人数：全体786名 中央支部122名

続く

④プログラム：

- | | | |
|------|-------------|----------------------|
| 第1部 | 13:00～13:55 | 新入会員歓迎、協会概要 |
| | 14:05～15:25 | 支部説明会 |
| 第2部 | 15:40～17:00 | 研究会・同好会相談コーナー(ブース出展) |
| 第3部 | 15:40～16:40 | 相談会 |
| 第4部 | 17:15～18:45 | 懇親会 |
| 支部企画 | 19:00～21:00 | 中央支部二次会 |

- | | | |
|-------|-----------|------------------|
| ⑤参加者： | 当日実行委員 | 石田美奈子先生、赤塚一輝先生 |
| | 支部紹介 | 高橋利忠支部長、 |
| | 先輩診断士 | 佐々木桃太郎先生 |
| | カンファレンス紹介 | 小島慶亮副支部長、 |
| | 相談会 | 高橋利忠支部長、大野進一副支部長 |
| | 中央支部二次会 | 新入会員21名、既存会員13名 |

⑥支部説明：中央支部の魅力を伝え、多くの新入会員が中央支部に入りたいと思うような支部紹介ができた。

⑦相談会：小グループで新入会員の疑問や質問に回答することに加えて、中央支部についてもしっかりと伝えることができた。

⑧中央支部二次会：当日中央支部入会を表明した新入会員を歓迎することができた。

2024年度事業報告 第13回中央支部大会

- (1) 開催日時：2024年4月27日（土）10:30～
- (2) 開催場所：秋葉原UDXABC会議室及びZOOMによるオンライン配信
- (3) 参加者数：78名(会場67名、オンライン11名)
- (4) 式次第

No	内容
1	開会宣言
2	所定手続
3	支部長挨拶
4	支部長による2023年度事業報告
5	決算報告・監査報告
6	支部表彰者発表について
7	佐藤前支部長退任の挨拶
8	高橋支部長による新任の挨拶・新体制の説明
9	2024年度事業計画
10	2024年度予算報告
11	コンプライアンス研修について
11	質疑応答
12	終了

2024年度事業報告

中央支部カンファレンス2024 プロジェクト

- 1. 開催日時：2024 年 4 月 27 日（土）12:30~19:00
 - ・開会セレモニー：12:30~12:55
 - ・カンファレンス：12:55~16:50
 - ・懇親会：17:00~19:00
- 2. カンファレンスプログラム：



会場	第一部										第二部			
時分	1230	1255	30	1400	30	1500	30	1600	30	1700	30	1800	30	1900
ABC ルーム	開会 セレモニー	基調講演		研究会・マスターコース説明会			フリートーク ラウンジ				懇親会			
ラウンジ				写真撮影会										
Dルーム							ミニ セミナー	ミニ セミナー	パネルディス カッション					
Eルーム							研究会・マスターコース ・4区相談会							
Fルーム							研究会・マスターコース ・4区相談会							
ZOOM	開会 セレモニー	基調講演		研究会・マスターコース説明会			ミニ セミナー	ミニ セミナー	パネルディス カッション					



続く

- ◎12:55～13:55 基調講演「コンテンツビジネスと企業経営」
(スクウェア・エニックス・ホールディングス 元社長 松田洋祐氏)
- ◎14:00～15:20 研究会マスターコース説明会
- ◎14:00～15:50 写真撮影会 (プロカメラマン、熊谷博一氏)
15:30～16:00 フリートークラウンジ
- ◎15:30～15:55 ミニセミナー「経営デザインシートを使って明るい未来を共に
創ろう！」(石田充弘 会員)
- ◎16:00～16:25 ミニセミナー「そうだ、Facebook 広告を出そう！」
(伊藤きよ枝 会員)
- ◎16:30～16:55 パネルディスカッション「診断士としてのビジネスチャンス
の見つけ方」
(パネリスト 小泉篤史 会員 村上雅宣 会員 司会 小山俊一 会員)
- ◎15:30～16:55 研究会・マスターコース・部会・4 区相談会 (ブース相談会)

3. 参加者数：

2024 年(今回)： 新人 89 名(未登録者含む)、 既存 272 名、外部講師
など 2 名 合計 363 名

2023 年(昨年)： 新人 135 名(未登録者含む)、 既存 245 名、外部講
師など3名 合計 383 名

参加者のうち新人比率 今回 24.7% 昨年 35.2%

後日、中央支部 YouTube チャンネルにて、アーカイブ動画を期間限定で
配信し、当日見逃したイベントを視聴できるようにした。計 355 回再生。

続く

4. プロジェクト会議開催状況

8 回開催（すべてハイブリッド開催）

12 月 29 日 ： キックオフミーティング 17 名参加

1 月 29 日 ： 第 1 回ミーティング 26 名参加

2 月 8 日 ： 第 2 回ミーティング 20 名参加

2 月 19 日 ： 第 3 回ミーティング 27 名参加

3 月 7 日 ： 第 4 回ミーティング 25 名参加

4 月 4 日 ： 第 5 回ミーティング 24 名参加

4 月 18 日 ： 第 6 回ミーティング 28 名参加

5 月 16 日 ： 第 7 回ミーティング 26 名参加

その他各チーム部会、登壇者との打ち合わせなど 6 回開催

目的： スプリング・フォーラムと並んで中央支部会員強化の重要な取り組みの一つと位置づけ、他プロジェクトや部会と連携して、新入会員の獲得を図る。

開催日時： 2024 年 10 月 12 日（土）

開催会場： TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

参加人数： 全体 328 名 中央支部 32 名

続く

2024年度事業報告

オータム・フォーラム（秋大会）2024 支部独自イベントプロジェクト

プログラム：	第1部	13:00～13:55	新入会員歓迎、協会概要
		14:05～15:25	支部説明会
	第2部	15:40～17:00	東京協会認定研究会 活動成果報告会
	第3部	15:40～16:40	入会・未定者向け相談会
	第4部	17:15～18:45	懇親会
	※	13:00～16:50	茶話室を設ける
	支部企画	19:00～21:00	中央支部二次会
参加者：	当日実行委員	櫻田千寛先生、小島薫先生	
	支部紹介	高橋利忠支部長	
	先輩診断士	中村慎吾先生	
	カンファレンス紹介	若林和哉副支部長	
	相談会	高橋利忠支部長、大野進一副支部長	
	中央支部二次会	新入会員7名、既存会員12名	

支部説明： 今回、プレゼンの順番が最後になったが、中央支部の魅力を伝え、多くの新入会員が中央支部に入りたいと思うような支部紹介ができた。

相談会： 小グループで新入会員の疑問や質問に回答することに加えて、中央支部についてもしっかりと伝えることができた。

中央支部二次会： 当日中央支部入会を表明した新入会員 7 名を迎えて歓迎することができた。

2024年度事業報告 中央支部まつり（秋まつり）

（１） 目的：新入会員の入会促進及び既存会員の活動活性化のため、中央支部の魅力を共有できるイベントを開催する。

（２） プログラム：

① プレセミナー

日時: 2024 年 10 月 1 日（火） 19:00～20:30

場所: 東京都診断士協会 中央支部事務所 or Zoom

参加者：43 名

プログラム：

パート 1: しごとはじめ！複業、開業に向けた診断士の歩き方セミナー

複業や開業で活躍中の先輩診断士から、失敗しない診断士の歩き方を学びます。

パート 2: 新人診断士がチューターにした質問ベスト5

チューター制度の参加者が受けた新人診断士からの質問ベスト 5 を厳選しました。

パート 3:先輩診断士（チューター）と話そう！

ざっくばらんに先輩診断士と今後のキャリアについて相談できる場です。

続く

2024年度事業報告 中央支部まつり（秋まつり）

② 秋まつり

日時：10月26日（土）12時00分～19時

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅日本橋
（一部コンテンツは ZOOM で配信予定）

参加費：無料/懇親会は有料（¥4,000）

参加者 153 名（懇親会参加者 90 人、Zoom 参加 10 人、新人・
未入会者 33 人）



続く

2024年度事業報告 中央支部まつり（秋まつり）

② 秋まつり（つづき）

プログラム：

- 新入会員向け 中央支部説明会
- 基調講演「突破の条件」（Facebook 立ち上げ時の体験談）
（AIBTRUST 株式会社代表取締役社長CEO 森岡康一氏）
- ビジネス案件の紹介
- 中央支部研究会・マスターコース・部会・同好会 ブース相談会
- 今年もやります！自己紹介コンテスト
- 知って！見て！踊ろう！ベリーダンス
- 懇親会

2024年度事業報告 支部合宿プロジェクト

今年度も拡大形式の合宿実施を決定。日時を下記の通り決定した。

- 日時：2025 年 1 月 25 日（土）～26 日（日）
- 場所：〒240 0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560 3838
- 施設 URL：<https://www.tkp-resort.net/lectore/hayama/>

部長会 11:00～

チェックイン 15:00～

拡大イベント 15:30～

大懇親会 18:30～

26 日オプションツアーは KIRIN ビール工場見学



参加者は日帰りの参加者も含めて 92 名。残念ながら目標の 100 名には届かなかった。

2024年度事業報告 社外取締役養成講座プロジェクト

1. 目的：中小企業診断士から社外取締役を輩出し、診断士の社会的地位向上を目指す

2. プロジェクト会議

(①23/10/20、②23/11/10、③23/12/8、④24/1/12、⑤24/2/9、⑥24/3/22、⑦24/4/15、⑧24/5/10、⑨24/6/14、⑩24/7/23、⑪24/8/23、⑫24/9/13、⑬24/10/18、⑭24/11/29、⑮24/12/13、⑯25/1/30、⑰25/2/14、⑱25/3/17)

メンバー20名（教務11名、広報9名）

教務：講座設計、講師に打診、講座資料とりまとめ、講座の当日運営、FB資料作成

広報：専用サイト開設、雑誌広告掲載、説明会開催、記者レク開催、PRタイムズ掲載

続く

2024年度事業報告 社外取締役養成講座プロジェクト

3. 開講までの動き

- 社外取締役養成講座専用サイトを開設（1 月）
- 企業診断 3 月号・4 月号に広告掲載
- 4 月 9 日、説明会を開催（中小企業会館、参加者 80 名・懇親会参加 50 名）
- 4 月 21 日、受講申込締め切り→75 名申し込み→5 月 1 日
選考者会議（35 名決定）
- 5 月 28 日、オリエンテーションを開催（ZOOM）
- 6 月 5 日、記者レク（内閣府にて）→6 月 11 日、PR タイムズ 掲載
- 6 月 8 日、講座開講（第 1 回講義）

続く

2024年度事業報告 社外取締役養成講座プロジェクト

4. 第一期生（35 名）の属性

男性 21 名（60%）・女性 14 名（40%）

30 代 2 名（6%）・40 代 7 名（20%）・50 代 18 名（51%）
・60 代以上 8 名（23%）

企業内 6 名（17%）・兼業可 6 名（17%）・独立 23（66%）

中央支部 23 名（66%）・東京協会 7 名（20%、城東支部 1 名・
城西支部 2 名・城南支部 1 名・城北支部 1 名・三多摩支部 2 名）・
その他 5 名（千葉県協会・富山県協会・愛知県協会・滋賀県協会・
大阪協会）

続く

2024年度事業報告 社外取締役養成講座プロジェクト

5. カリキュラム

6. その他

一般社団法人 東京都中小企業診断士協会 中央支部が主催して開講した同名講座の第1期は、同支部が第1期修了の5月まで継続して主催・実施することとなった。このため、想定された支部の不実施部分を継承または受託実施する受け皿としての役割を担うマスターコースは予定した役割がなくなり、今次マスターコース申請は、一旦取り下げ、認定を返上することとなった。

なお、今回取り下げと再次の申請との間に何らの縛りは無いものと説明を受けている。

講義回	日程	講義テーマ	講師
1 講	2024/6/8(土)	社外取締役への期待と役割・責任とは	・ 藤田隆久・池側千絵
2 講	2024/7/13(土)	株式会社運営と社外取締役	・ 池側千絵・大石幸紀
3 講	2024/8/10(土)	社外役員に必要な監査・統制知識と機能	・ 佐藤裕二・松田洋祐
4 講	2024/9/7(土)	異なる社外取締役の役割とキャリア	・ 藤田隆久・池側千絵
5 講	2024/10/12(土)	社外役員としてのコミュニケーション、社外役員に必要な税務知識	・ 岡本純子・伊藤章子
6 講	2024/11/9(土)	社外役員に必要な法務・労務知識	・ 淵邊善彦・飯田剛史 ・ 山下典明
7 講	2024/12/14(土)	社外役員としての素養、社外役員に必要な財務・ファイナンス知識	・ 山口周・高森厚太郎
8 講	2025/1/11(土)	社外役員活動の実際を知る	・ 深井未来生・城戸真亜子 ・ 野田万起子・藤田隆久
9 講	2025/2/8(土)	開示書類の読み解き方と取締役会ケーススタディ	・ 竹内直・藤田隆久 ・ 池側千絵
10 講	2025/3/8(土)	上場（IPO）準備・上場企業での役割と活動	・ 村田雅幸・淵邊善彦
11 講	2025/4/12(土)	社外 CFO としての活躍を探る	・ 高森厚太郎・藤田隆久
12 講	2025/5/10(土)	M&A・事業シナジーの発揮と社外役員の役割	・ 齋藤由紀夫・藤田隆久

2024年度事業報告 チューター制度検討プロジェクト

(1) 目的

新入会員の入会促進及び活動の活性化のため、チューター制度を立ち上げ、新入会員に必要な情報・相談・交流の機会を提供する

(2) 具体的取組み

- ① 春の新入会員向けに、6 グループ（1 グループ 2 名、合計 12 人のチューターと 1 グループ 4～5 名、合計 27 名の新入会員）、秋は 3 グループ（1 グループ 2～3 名、合計 8 人のチューターと 1 グループ 4～5 名、合計 14 名の新入会員＆既存会員）を設定して、月 1 回計合計 4 回の相談会を実施
（一部は 2025 年 4 月に実施予定）

続く

2024年度事業報告 チューター制度検討プロジェクト

(2) 具体的取組み（つづき）

- ② 顔合わせ会や 9 月 25 日の合同相談会など、グループ外チューターや新入会員との交流機会を提供
- ③ 各相談会の内容は、ガルーンで議事録を保管するとともに、部長会や執行委員会でサマリーを共有している
- ④ 下記は相談会での質問の傾向をまとめたものである
 - ・スキルアップに関する質問：スキルアップのためにお勧めの活動や、楽しくスキルを伸ばす方法についての質問。
 - ・四区診断士会に関する質問：四区診断士会の活動の内容や、活動に参加するタイミングについての質問。

続く

2024年度事業報告 チューター制度検討プロジェクト

- 実務従事に関する質問：複数の人と連携して経営コンサルティングを行う場合のポイントや、実務従事でのポイント獲得方法についての質問
- 部会活動に関する質問：部会活動の重要性や、どの部会に参加すべきかについての質問。
- 独立に向けた準備：独立するために必要な準備や、経験を積むためのアドバイスについての質問。
- インボイス制度に関する質問：インボイス制度に登録すべきか、登録方法についての質問。
- 公的機関からの業務：公的機関からの業務や補助金関連業務への参画方法についての質問。

2024年度事業報告 新年賀詞交換会プロジェクト

1. 開催日時：2025 年 1 月 10 日（金）18:30~20:30

会 場： 銀座ブロッサム 7 階 『マーガレット』

2. 式次第

司会 吉野 太佳子先生

開会挨拶 高橋利忠支部長

来賓祝辞 一般社団法人 日本中小企業診断士協会連合会 会長 松枝憲司様

来賓紹介

祝電披露

乾杯 一般社団法人 東京都中小企業診断士協会 会長 森川雅章様

懇談

中締め 中央支部顧問 兼子俊江先生

3. 参加者

申込者 101 名うち 96 名が参加

2024年度事業報告 情報管理委員会

「中央支部情報管理体制の安定運用を図る」、「情報利活用の更なる推進を図る」という2つの年度方針および個人情報関連保護関連業務の要請に従って、以下について実施した。

① グループウェア運用管理者業務

管理者の交代により、今年度は「各部部員のガルーン登録更新」を中心に管理を行った。

部長会で監査委員から提案されたファイル管理のアクセス権限の確認を3月に実施した。

続く

2024年度事業報告 情報管理委員会

② グループウェアヘルプデスク業務

「ガルーンの登録メンバーの確認」、「ファイル管理者権限に関する件」などについての問い合わせや相談があり、状況によって部長会で相談するなどして適宜対応した。ガルーンのファイル管理権限を希望する部には、部長等に権限等を譲渡することを部長会で決定した。

③ プロジェクト、部会に対してグループウェアの利用状況や利用希望アンケートの実施。

2025 年 3 月に実施見込。調査分析は、2025 年 4 月に公開予定。

④ 会員情報管理方法ならびにグループウェア運用の改良

今期は、今のところ特段の改良は実施していない。総務部からのキントーン活用に関し相談を受けており、来期に総務部と共同して実施する見込み。

続く

2024年度事業報告 情報管理委員会

⑤ 委員会会議

大きな相談・報告事項がなかったため、委員会としては実施しなかった。メンバーは、支部長、総務部長、情報管理委員会担当副支部長の 3 名のため、部長会等で報告等をおこなった。

⑥ 個人情報保護関連

今期 12 月に、情報管理委員会が個人情報保護関連についての実務を担当するよう依頼があった。そのため、東京協会から各支部における個人情報保護関連の体制を構築するよう依頼に応じて、個人情報保護管理体制案を作成した。東京協会と継続協議を行い、来年度、個人情報保護管理体制を確定させる。

2024年度事業報告 支部表彰者選考委員会

2023 年度支部表彰の表彰者は以下のとおり。

中央支部表彰（定量評価）

氏名	出席回数
中村 慎吾	4 7
五十嵐 直人	4 0
太田 一宏	3 9
中川 健史	3 0
浜崎 正和	2 9
土佐林 義孝	2 9
福田 まゆみ	2 8
山崎 肇	2 5
石田 美奈子	2 4
高久 雅樹	2 4
依田 忠	2 4
菅原 寅太郎	2 4
伊東 裕司	2 4

中央支部表彰（定性評価）

氏名	所属
渡邊 浩樹	総務部
田中 宏和	経理部
赤塚 一輝	広報部
伊藤 明子	研修部
鈴木 秀明	研究会部
小犬丸 信哉	会員部
白崎 智子	青年部
森畑 和之	国際部
細見 貴	渉外部
勝目 猛	ビジネス創造部
古田 隆史	実務従事支援部

2024年度事業報告 支部表彰者選考委員会

2023 年度支部表彰の表彰者は以下のとおり。

中央支部表彰（テーマ別）

氏名	テーマ
伊藤 孝一	会員増加貢献賞
塩治 浩一	カムバック賞・活動再開賞
道本 潔	カムバック賞・活動再開賞
大井 秀人	兼業頑張ったで賞
前川 昌隆	新入部員賞
横山 茂生	レジェンド賞
山戸 昭三	実務従事案件貢献賞
楠本 洋一	ベスト裏方賞
徳田 友美	ベスト裏方賞
尾崎 多佳代	ベスト裏方賞
松尾 啓子	素敵な投稿賞
吉倉 英代	実務補習案件貢献賞
フレッシュ診断士研究会	支部チャンネル活用賞

2024年度事業報告 支部表彰者選考委員会

2023 年度支部表彰の表彰者は以下のとおり。

2023 中央支部 of the year



新人賞

石田 美奈子 殿

2023 中央支部 of the year



M V P

中村 慎吾 殿

2024年度事業報告 ビジネス推進委員会

東京協会委託案件推薦の状況

東京協会への専門家推薦は今期 23 案件、延べ 297 名の会員の推薦を実施した。

2024年度事業報告 社会貢献事業委員会

(1) 目的

支部会員が社会貢献事業に関われるよう、必要な情報や相談機会を提供する。

(2) 具体的取組み

6月にメンバーを厳選して打合せを実施。東京協会の社会貢献事業の内容や、渉外部の取組内容を共有。協会の社会貢献事業の認知度アップや当委員会としての社会貢献事業の機会提供についてディスカッションをした。秋まつりでの社会貢献事業の紹介が決定した。9月に2回目の打合せを実施。来年度当委員会で予算を設定して、1年間かけて商店街支援に取り組むことを決定した。

1月に3回目の打合せを実施、その後、四区診断士会にも相談して、次年度は港区の商店街支援を進めることとなった。

2024年度事業報告 総務部

① 会議運営の実施

以下、部長会、執行委員会を開催した。

- 部長会開催

2024/04/11(木)、2024/05/9(木)、2024/06/13(木)、2024/07/11(木)、
2024/08/8(木)、2024/09/12(木)、2024/10/10(木)、2024/11/14(木)、
2024/12/7(土)、2025/1/25(土)、2025/2/13(木)、2025/3/13(木)

- 執行委員会開催

2024/04/11(木)、2024/06/13(木)、2024/10/10(木)、2024/12/7(木)、
2025/2/13(木)、2025/2/28(金)

② 支部大会の開催

- 2024 年 4 月 27 日（土）10:00 より、秋葉原 UDX でのリアル開催と ZOOM によるオンライン配信のハイブリッドで開催した。
出席：78名（会場参加：67 名、Zoom 参加：11名）

続く

2024年度事業報告 総務部

③ 顧問・政策委員会議の開催

- ・2024/11/8(金)リアル開催（グレースバリ銀座）

顧問・政策委員 11 名、支部長・副支部長・部長・部長代理 17 名、総務部 4 名、計 32名参加。

中央支部の新しい取組みについて顧問・政策委員の方から活発なご助言を賜り、中央支部や東京協会に対する強い思いが感じられる会議となった。

④ 専門家登録アプリ、稟議アプリの運用開始

- ・専門家登録アプリの運用開始

東京協会専門家登録を会員自身がキントーン上で行う運用にした。

続く

2024年度事業報告 総務部

- ・ 稟議アプリの運用開始
中央支部で稟議システムを導入した。

kintone

【中央支部】 稟議システム

スペース: 【中央支部】 総務部管理アプリ アプリ: 【中央支部】 稟議システム

(中央支部) 稟議書一覧表

キャンセル 保存

稟議書 |

稟議番号は空欄でOK (決裁後に事務局が入力)

申請日 決裁希望日 稟議番号

2024-09-13

件名

部会、委員会、プロジェクト名

決裁経路 (予算実行申請、予算外申請、規定外申請、その他は具体的に) 、

承認を受ける金額 左記の支払時期 (YYYY-MM-YYYY-MM) 年度予算 *

- ・ キントーンアプリは、他のタスクについてもアプリ化を検討中。

2024年度事業報告 経理部

① 経理処理のガルーン活用

2024 年度より本格的に取り入れた、ガルーンによる請求書・領収書の収集や支払プロセスであるが、運用の中で課題を抽出し、改善を行ってきた。

当スキームの確立に向け、運用体制の整備を引き続き行っていく。

② 部会交通費の支払ルールの変更

年度末に締めて、翌期に支払いを行っていた部会交通費の支払時期の変更を行った。

上期分を9月末日締め、下期を2月末日締めの2回に分けて支払うルールに変更した。

年度内に部会交通費の支払いを処理することで、未払金の翌期繰越額の圧縮を行った。

続く

2024年度事業報告 経理部

- ③ 業務フローの文書化経理事務内容の文書化
今期に関しては、経理事務内容の文書化（簡易版）を行った。
2025 年度には、東京協会経理部と連携をさらに密にし、経理事務のルール化を図っていく。

2024年度事業報告 広報部

- ① 中央支部 WEB サイトへの寄稿記事掲載および、サイトの管理・運営
- ・ 経営者向け情報（2024 年 4 月～2025 年 3 月 毎月 2～3 本掲載）
合計 30 本
＜専門家コラム＞26 本
＜経営診断事例＞1 本
＜経営相談Q & A＞2 本
＜業種別業界別トピックス＞1 本
 - グローバルウインド（2024 年 4 月～2025 年 3 月 毎月 1～3 本掲載）合計 23 本
 - ・ 支部会議報告、セミナー・イベント開催案内、セミナー・イベント開催報告（適宜）
 - ・ 研究会スケジュール（2024 年 4 月～2025 年 3 月 毎月掲載）

続く

2024年度事業報告 広報部

① つづき

- 2024 年度新体制の情報更新
- その他記事の追加・更新（入会検討中の方向け案内、行事予定更新、支部規則更新、研究会・マスターコース情報更新など適宜）
- SSL 証明書更新、ドメイン更新（年次）

② e ニュース、支部メルマガの編集・発刊 合計 24 本

- e ニュース（2024 年 4 月～2025 年 3 月号）会員向け 12 本
- メールマガジン（2024 年 4 月～2025 年 3 月号）外部向け 12 本

③ TOKYO SMECA ニュース 中央支部だより編集（月次）

- 東京協会 TOKYO SMECA ニュース 中央支部だよりの取りまとめ・編集を行った。

続く

2024年度事業報告 広報部

- ④ 2024 年にホームページリニューアル計画。PHP およびワードプレスの更新やデザインの刷新を行う。委託事業者はコンペにより株式会社 LooCo に選定済み。契約書案を中央支部広報部に所属の石井達也弁護士に依頼し、株式会社 LooCo との契約に至った。
現在、皆様のご意見をきいたうえでホームページが完成し、引き渡しに臨んでいる。
- ⑤ 国際部、研究会部など他の部会との連携をさらに密にする。研究会部とガールーン上にて業務のやり取りを行っている。

2024年度事業報告 能力開発推進部

以下のセミナーを企画運営実施した。

① 2024 年 5 月 13 日 創業融資支援の基礎知識

講師：東川 仁氏（中央支部会員）

株式会社ネクストフェイズ 代表取締役

（一社）融資コンサルタント協会 代表理事

実施場所：中小企業会館 8 階 C 会議室

参加者：40 名

② 2024 年 7 月 8 日 「エニアグラムを活用したHRコンサルティング手法について」

講師：安村 明史 氏

ビジネス能力開発株式会社 代表取締役

一般社団法人人材開発協会 代表理事

実施場所：中央支部事務所＋オンライン

参加者：オンライン 55 名

中央支部事務所 14 名

続く

2024年度事業報告 能力開発推進部

③ 2024 年 8 月 6 日「補助金活用相談の基礎」

講師：土佐林義孝氏（中央支部会員）

実施場所：中央支部事務所＋オンライン

参加者：オンライン 83 名

中央支部事務所 15 名

④ 2024 年 9 月 19 日「明日から実践できる！クライアントのやる気を引き出すためのコンサルタント自身の心の高め方～2024年版～」

講師：大垣雅則氏

旭コンサルティング 代表

元(株)パスモ代表取締役社長

実施場所：中央支部事務所＋オンライン

参加者：オンライン 30 名 支部事務所 5 名

続く

2024年度事業報告 能力開発推進部

⑤ 2024 年 11 月 8 日生成 AI 基礎セミナー

講師：小川 椋徹氏

株式会社2WINS代表取締役Co-CEO

実施場所：中小企業会館 9 階講堂

参加者：71 名

東大発スタートアップの同社を率いる Co-CEO
の小川氏の話はテンポよくわかりやすいもので
あった。同氏は AI 研究者でもあるためしっかり
とした基礎知識を学ぶことが出来、好評を得た。

⑥ 2025 年 1 月 17 日

「中小企業診断士のための YouTube 攻略法」

講師：牧野谷 輝

株式会社リブウェル代表取締役

リブウェル行政書士事務所代表

中小企業診断士・行政書士

実施場所：中小企業会館 9 階講堂

参加者：51 名

続く

2024年度事業報告 能力開発推進部

⑦ 2025 年 3 月 26 日

「中小企業診断士のための WEB マーケティング基礎入門」

講師：株式会社フルスピード リージョナル DX

部 長橋佑司氏

実施場所：中小企業会館 8 階会議室

参加者：対面 20 名 オンライン 95 名

デザイナーとしてキャリアを始め、WEB マーケティング歴 18 年という豊富なキャリアを持ち、サイトの企画から広告の運用、さらにはコンサルティングまで、多岐にわたる経験をお持ちの専門家の話は、基本がきちんと押さえられており、基礎入門にふさわしい内容であった。

今年から、旧研修部のホットコーナーの名称から、「能力開発基礎セミナー」に変更し新体制で実施した。今後は診断士的能力向上に役立つセミナーを、中央支部の研究会やマスターコースとも連携しながら提供していく予定である。

2024年度事業報告 研究会部

① イベントの実施

- ・東京協会 2024 スプリング・フォーラム 4 月 6 日（土）内イベント「研究会ブース」出展への参加募集を行った。研究会 11 団体、MC13 団体が参加した。
- ・中央支部の新入会員・未入会者向けのイベントとして「カンファレンス」4 月 27 日（土）内のイベントにて、「中央支部「カンファレンス」研究会・MC 合同説明会」「研究会・MC・4 区診断士会・部会ブース相談会」を開催した。
「中央支部「カンファレンス」研究会・MC 合同説明会」では、各団体が 3 分 30 秒間で団体の説明を行い、勧誘活動を行った。参加団体は 19 団体（研究会 8 団体、MC11 団体）。
- 「研究会・MC・4 区診断士会・部会ブース相談会」では、2つのルームを使用し、参加者に団体への参加勧誘を行った。参加団体は研究会 7 団体、MC11 団体、4 区診断士会、11 部会。事前に研究会、MC には、団体の説明動画を募集し、中央支部チャンネルにアップした。
- ・中央支部主催「秋まつり 2024」10 月 26 日（土）内イベント「中央支部研究会・マスターコース・部会ブース相談会」を開催した。研究会 9 団体、マスターコース 8 団体が参加した。

続く

2024年度事業報告 研究会部

② 広報部と協力して会員への情報提供

- 中央支部メールマガジンの研究会・MC 紹介記事を取りまとめた。
- TOKYO SMECA ニュースの研究会開催案内を取りまとめた。
- 中央支部 WEB サイトの更新を受付けた。

③ 研究会・MC の管理

- 「代表者会議」の開催

研究会・MC の代表者に研究会運営に関する情報共有を行うため、7 月 4 日(木)ZOOMにて開催した。27 団体、35 名が参加。

支部長の挨拶、新規認定をした 1MC 紹介、研究会部各担当の紹介、各種情報提供等を行った。

- 研究会・MC の新規認定、認定更新、登録事項変更等の手続きを行った。
- 補助金基準に基づき、研究会に補助金を支給した。

続く

2024年度事業報告 研究会部

④ 認定研究会・認定マスターコース一覧（2025 年 3 月 31 日現在）

	研究会名	代表者名
1	人生 100 年道場研究会	森川 英二
2	ビジネスモデル研究会	平田 仁志
3	I B S （インテリアビジネス）研究会	鳩原 恵二
4	M I F （生産革新フォーラム）研究会	本間 峰一
5	フレッシュ診断士研究会	小林 勇治
6	老舗企業研究会	柳 義久
7	思想・哲学研究会	木伏 源太
8	企業内診断士ビジネス連携研究会	三井 善樹
9	実践的プロモーション研究会	大谷 秀樹
10	AI・人工知能研究会	黒須 靖史
11	プレゼンスキルアップ研究会	井村 正規
12	士業&コンサルコンテンツマーケティング研究会	若林 和哉
13	ふらっと研究会	中村 哲也
14	中小M&A支援研究会	黒須 靖史
15	エニアグラム実践研究会	加賀城 剛史
16	女性活躍推進研究会ソフィア	増澤 祐子

	マスターコース名	代表者名
1	ものづくりプロコン養成コース TKK マンダラ法	平林 裕治
2	サステナブル経営財務マスターコース （旧・国際会計と財務戦略マスターコース）	大山 明夫
3	経営革新のコンサルティング・アプローチ	井上 善雄
4	稼げる！プロコン育成塾	山崎 肇
5	ファッションビジネス・リデザイン支援	今宿 博史
6	中小企業支援プロジェクトマネージャ養成コース	三井 善樹
7	アグリビジネス経営支援研究会	清水 康雄
8	売れる！人気プロ研修講師・コンサルタント養成講座	青木 公司
9	みんなのプロコン塾～活躍する診断士の王道、テオリア・メソッド！（略称：『みんプロ塾』）	八木 田鶴子
10	経営コンサルタント養成塾	寺嶋 直史
11	事業承継支援専門家養成講座	佐々木 文安
12	pwmc パラレルワークマスターコース	小野田 直人
13	新時代型経営実戦マスターコース（新時代型実戦 MC）	木伏 源太
14	経営力再構築伴走支援型コンサルタント養成コース （略称：パトコン養成コース）	福田 裕史
15	士業&コンサル コンテンツマーケティング塾	若林 和哉

2024年度事業報告 会員部

①会員の獲得・維持に関する活動を企画運営する。

- ・会員数の増減の把握、会員ニーズアンケートの実施など会員情報の運用管理に取り組む。
- ・新入会員・未入会者情報の収集を行い、中央支部のイベント情報を配信等に活用している。

②会員交流の活発化のための既存会員向けイベントを企画運営する。

- ・交流イベントとして、青年部との合同リアルイベントを9月23日(月祝)に開催。2023年度に好評を博したワインセミナーのテイスティング本数を増やし、更なるパワーアップ版をお届け。36名の申し込みがあり満員となり好評を博した。
- ・ファミリーイベントとして11/23(土祝)に家族参加で楽しめる体験型企画を実施し、30名(うち8家族、お子様8名)が参加。会場は魚釣りができる話題の体験型居酒屋「釣船茶屋 ざうお」。
自分で釣った魚をその場で調理し、新鮮な美味しさを堪能しながら、家族や仲間たちとの絆を深めた。

続く

2024年度事業報告 会員部

② つづき

- ・コラボイベント：12月1日(日)に国際部・能力開発推進部とリアルの合同イベントを実施し、30名が参加。

330年の歴史を持つ関東3大醤油のひとつ土浦の老舗醤油蔵「柴沼醤油醸造」の柴沼社長による講演を実施。国際派診断士としての知見を広め、中央支部会員のスキルアップに貢献し、中央会員の親睦を深め、交流の場となり楽しめるイベントとなった。

③ 会員キャリアに資するイベント等を企画運営する。

- ・24年10月1日(火)に、「しごとはじめ！複業、開業に向けた診断士の歩き方」を開催予定。新入会員、未入会者向けに、複業や開業の初めてのステップを踏み出すコツを伝えるキャリアイベントとして、先輩診断士からのセミナーや相談会を実施し、50名(うち会場参加18名)が参加。
- ・25年3月27日(木)にて、「スタートダッシュセミナー」を開催。24名が参加。

続く

2024年度事業報告 会員部

④ 同好会の管理を行う

同好会の新規認定、認定更新、登録事項変更等の手続きを担当し、以下 7 つの同好会が新たに設立されている。（2025 年 3 月 31 日現在）

同好会名	会の目的・テーマ	代表幹事
ゴルフ同好会	ゴルフを通じてメンバーの健康維持と交流機会の増加を図るとともに、社会における良好なコミュニケーションツールとして活用できることを認識してもらうことを目指す。	中川 健史
テニス同好会	テニスを通じ、フェアプレー、尊重、責任感、規律、努力、チームワークの精神を磨きつつ、会員同士の親睦を深め、健康増進を図る。	小山 俊一
社会科見学同好会	メンバーの「行ってみたい!」「見てみたい!」を実現し、企業・工場見学やイベントなどに参加する。後日、共有や振り返りも行う。	増澤 祐子
鋼鉄音楽同好会	会員同士がヘヴィメタルを通じて交流を深めることを目的とする。音楽に対する共通の興味を持つ仲間が集まり、コミュニケーションを促進する。	赤塚 一輝
麻雀同好会	麻雀を通じて、会員の交流と脳の活性化を促進し、より豊かな中小企業診断士活動の実現を目指す。	佐藤 裕二
美食同好会	真の味覚体験の追求、食文化の継承と普及、マナーと礼節の向上	柳内 茂樹
ボディメイク同好会	トレーニングを通じて健強な身体を作り、メンバーの健康維持やビジネスパフォーマンスの向上、更には健康長寿に寄与することを目的とします。	中村 亮太

2024年度事業報告 青年部

① 青年部会の開催

- ・6月17日、9月30日、1月24日、2月25日開催

② 経営者イベント

中央支部の若手会員と経営者として意見交換をするイベントを下期開催

- ・4月22日 第1回実行委員会開催
- ・5月21日 青年部有志と経営者として意見交換を行うプレ会合を開催
様々なフェーズの経営者にとって診断士と関わることによるメリットをどのように提示すべきかについて意見交換が行われた
- ・11月15日 第2回実行委員会開催
- ・1月7日 青年部有志と経営者として意見交換を行うプレ会合2回目を開催。
直接案件に繋がらない、情報交換を中心とすることの是非について経営者から直接ヒアリングを行った

2025年度のイベント開催に向けてヒアリング・企画検討を継続

続く

2024年度事業報告 青年部

③ 青年部ビジネスセミナー

- ・1/28（火）ビジネスパフォーマンス向上！
健康長寿を目指す診断士のための「筋トレ&食事管理セミナー」 講師：中村亮太会員
- ・2/27（木）「変革がもとめられる時代に知っておきたいデザイン思考」
～速攻使えるツールを添えて～ 講師：豊田洋子会員
- ・3/18（火）感動メソッドを体験せよ！今すぐ使える！
『ほめるプロが教える「組織活性化」の極意とは？』 講師：福田浩之会員

④ 会員交流イベントの開催（会員部合同）

- ・9/23（月・祝）
ソムリエから学ぶ！ビジネスシーンで役立つワインの基礎知識&テイスティング（パワーアップ版）
～ワインの選び方がわかる、高級ワインとリーズナブルワイン 4 種飲み比べ体験～
昨年開催が好評だった社会人が仕事で役立つワイン知識を学べるセミナーを今年度も開催
テイスティングなども取り入れ、会員同士の交流機会を創出した

2024年度事業報告 国際部

① 副部長会（主担：太田副部長）

- ・ 4/3（水）第1回をZOOMで開催。全事業・イベントの実施予定と実行メンバー応募状況の確認、および部運営と事業イベント実行に関わる情報を共有した。
- ・ 7/16（火）第2回をZOOMで開催。事業・イベントの実施状況報告、今後の事業・イベントの企画・準備の進捗情報について共有した。
- ・ 10/15（火）第3回をZOOMで開催。事業・イベントの上期実施報告、および下期の企画準備の情報を共有し、来年度の事業方針固めの進め方も共有した。
- ・ 2/18（火）第4回会合で来年度の当部事業方針、および全事業・イベントの実行する担当副部長を決めた。

② 部会（主担：太田副部長）

- ・ 4/15（月）第1回会合を支部事務所とZOOMでハイブリッド開催。事業・イベント予定と実行メンバー配員を共有。適正運営のため、準備・開催・事後対応の留意点を周知。43名出席。
- ・ 5/29（水）第2回会合を支部事務所とZOOMでハイブリッド開催。支部カンファレンスを経て、入部候補者17名が出席。事業・イベント予定と準備・開催・事後対応の留意点を再度共有。54出席。
- ・ 10/22（火）第3回会合を支部事務所とZOOMでハイブリッド開催。事業・イベント状況の共有と次年度への課題整理の情報共有と意見交換を実施。64名出席。
- ・ 3/5（火）の第4回会合で来年度の活動の方針と事業・イベント実施を報告した。52名出席。

続く

2024年度事業報告 国際部

③ 中央支部HP「グローバルウインド」(主担：静永副部長)

- 1年間を通じて、平均2本の国際関連情報を部員が、広報部と協力し支部HPへ投稿し、年間で23本の記事掲載となった。
- 広報部と定期で運営改善の会合を実施し、相互連携の高度化を目指している。

④ インド通養成講座 (主担：鶴崎副部長)

- 5/22(水) 第1回を支部事務所とZoomのハイブリッド開催。39名参加。講師に三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)シニアマネージャー河本憲治氏を迎え、テーマを「南インドの文化、歴史を背景に、経営を語る」に開催。
- 8/28(水) 第2回講座を、東京都中小企業会館9F講堂とWebinarのハイブリッド開催。50名参加。講師に(株)はなまる 代表取締役前田良博氏を迎え、テーマを「インドにおける食のイノベーションとは」に開催。

⑤ 国際オープンセミナー (主担：水口副部長)

- 12/14(土)、東京都中小企業会館9F講堂とWebinarのハイブリッド開催。中小企業の海外進出や人材不足解消の有効施策である、高度外国人材の活躍推進へ理解を深めることが目的。参加対象は、高度外国人材の活躍推進に関心を持つ中小企業診断士、支援機関担当、および支援先中小企業経営者とした。91名参加。
- 講師のJETRO 高度外国人材課長 吉田悠吾氏、R production Inc.代表 菊池領子氏、元skyACE(株)代表 熊坂増高氏が登壇した。

続く

2024年度事業報告 国際部

⑥ 国際派診断士リーダー養成講座「国際社中」（主担：横山副部長）

- 6/26（水）第1回「ブラジルビジネス講座」をテーマに、支部事務所とZoomでハイブリッド開催。26名参加。
- 9/25（水）第2回「JICA専門家としての重要ポイントと国際協力活動の事例紹介」をテーマに、支部事務所とZoomのハイブリッド開催。30名参加。
- 11/13（水）第3回「洋上風力発電の世界潮流と日本の中小企業の活躍分野」をテーマに、支部事務所とZoomのハイブリッド開催。9名参加。
- 2/26（水）第4回「シンガポールのスタートアップの現状」をテーマに、支部事務所とZoomのハイブリッド開催。23名参加。

⑦ 広報（主担：木村副部長）

- 4/27（土）中央支部カンファレンスで当部ブースを構えて、新入部員の勧誘を行った。
- 11/15（土）開催の中央支部秋まつりで入部勧誘を行い、2024年末における部員数は81名になった。
- 部紹介の動画の更新で作成・編集を行い、2025年4月に公開した

⑧ コラボ事業（会員部／能力開発推進部と連携）（主担：佐藤副部長）

- 12/1（日）ワンコイン会議室新橋にて、柴沼醤油インターナショナル柴沼秀篤社長を講師に迎えて開催した。30名参加。
- 連携する各部の実行メンバーと企画・準備を進め、10月に案内・参加受付を開始。

続く

2024年度事業報告 国際部

⑨ 東京協会国際部主管案件への協力

(1) 在日外国機関NW構築事業（主担：阪本副部長）

- ・当部は主担を任され、他支部国際部メンバー共に総勢13名で、東京協会国際部をゲートウェイとした在日の外国大使館、外国商工会議所、外国企業支援組織、また政府系支援機関、大学、留学生ネットワーク等とのチャネル構築継続中。目的はそれらとの連携を通じ、セミナー企画・実施等を開催し外国企業の進出や経営支援に繋げ、診断士活動領域を拡げる。
- ・10月以降、プロジェクト事務局を立ち上げ、次年度に向けた運営方針の整理と体制作りの議論を行なった。

(2) 新規輸出1万者支援プログラム説明会（主担：土佐林副部長）

- ・当部は主担を任され、7/20（土）に経済産業省が主管の施策である「新規輸出1万者支援プログラム」を、同省、中小企業庁、及び2関係支援機関から説明を受ける会を、東京都中小企業会館とWebinarでハイブリッド開催した。全国・海外在の中小企業診断士329名が参加。

2024年度事業報告 渉外部

① 2024 年度第一回四区診断士会・中央総研連絡会議

- 2024 年 5 月 23 日実施。中央支部事務所で各区及び株式会社中央総合研究所の支援動向をふまえた活動内容の共有等を行った。会議への参加団体は、東京協会中央支部渉外部のほか、特定非営利活動法人東京都港区中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人東京都中央区中小企業経営支援センター、一般社団法人ちよだ中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人文京区中小企業経営協会。

② 2024 年度第二回四区診断士会・中央総研連絡会議

- 2024 年 8 月 1 日実施。中央支部事務所で各区及び株式会社中央総合研究所の支援動向をふまえた活動内容の共有等を行った。会議への参加団体は、東京協会中央支部渉外部のほか、特定非営利活動法人東京都港区中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人東京都中央区中小企業経営支援センター、一般社団法人ちよだ中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人文京区中小企業経営協会。 株式会社中央総合研究所。

③ 2024 年度第三回四区診断士会・中央総研連絡会議

- 2024 年 12 月 12 日実施。中央支部事務所で各区及び株式会社中央総合研究所の支援動向をふまえた活動内容の共有等を行った。会議への参加団体は、東京協会中央支部渉外部のほか、特定非営利活動法人東京都港区中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人東京都中央区中小企業経営支援センター、一般社団法人ちよだ中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人文京区中小企業経営協会、株式会社中央総合研究所。

続く

2024年度事業報告 渉外部

④ 2024年度第四回四区診断士会・中央総研連絡会議

- ・2025年 3月6日実施。中央支部事務所で各区及び株式会社中央総合研究所の支援動向を ふまえた活動内容の共有等を行った。会議への参加団体は、東京協会中央支部渉外部のほか、50 特定非営利活動法人東京都港区中小企業経営支援協会、特定非営利活動法人東京都中央区 中小企業経営支援センター、一般社団法人ちよだ中小企業経営支援協会、特定非営利活動法 人文京区中小企業経営協会、株式会社中央総合研究所。

⑤ 社会貢献活動

- ・東京協会の社会貢献活動として、築地の商店街である特定非営利活動法人築地食のまちづくり協議会向けに年間 4 回のまちゼミセミナーを実施予定。特定非営利活動法人築地食のまちづくり協議会への折衝及び連携先である日本政策金融公庫東京中央支店、特定非営利活動法人東京都中央区中小企業経営支援センターへの折衝を行った。年度前半のセミナーとして特定非営利活動法人築地食のまちづくり協議会会員向けに以下を実施した。
- ・2024 年 7 月 9 日 資金繰り・資金調達セミナー 講師：佐藤 健
(連携先の日本政策金融公庫東京中央支店より制度説明も実施。)
- ・2024 年 7 月 23 日 補助金・助成金セミナー 講師：伊窪拓真
- ・2024 年 10 月 22 日 事業承継セミナー 講師：関 義之
(講師は連携先である中央区中小企業経営支援センターより登壇)
- ・2024 年 11 月 12 日 マーケティング・商品開発 講師：金子政弘

2024度事業報告 事業推進部

- ① 会員のビジネス機会を創造するための、ビジネスマッチングイベント、ワークショップイベント、懇親会を実施する。
- ② 新たな収益事業を行うチャンスを取り込むための、外部・他士業とのアイデア検討イベントを実施する。部会にて、以下の日程でイベント開催することを決定した。開催方式は、当部のイベントは、診断士とのつながりを求めるビジネスパーソンとマッチング機会を提供するケースが多く、過去オンライン参加者がビジネス機会につながった経緯もなく、配信用機材の用意や人員、手間などのコストを考慮し、マッチング／ワークショップイベントは、すべて対面実施のみで実施とする。
 - ・ 民間事業会社イベント：2024 年 11 月 2日（土）開催
 - ・ 士業連携イベント：2024 年 12 月 21 日（土）開催
 - ・ 経営者イベント：2025 年 3 月 20 日（木・祝）開催

続く

2024年度事業報告 事業推進部

③ ビジネスパーソンとの交流、講師の発掘、会員のビジネス意識の向上、ビジネスに関しての交流のための、セミナーやイベントを実施する。

- 第1回ビジネスミートアップ&セミナー：4月30日（火）開催。青木公司成员より過去に大好評だった「キャリアビジョン策定」をテーマに実施。100名申込、87名参加し、会場とオンラインのハイブリッドで開催した。今年度も引き続き、参加者同士や講師と交流できる機会を通じてビジネス創造につなげていただくことを目的に「ビジネスミートアップ&セミナー」として企画・開催した。ミートアップとセミナーのパートで構成し、ミートアップパートでは、ブレイクアウトルームを活用し、参加者同士でテーマに沿って、あるいはざくばらんに語り合っていた。 「セミナーの内容がとても分かりやすく新人として何から始めるべきか分かった」「セミナーはもちろん、交流の時間も有って良かった」「懇親会もセットであった方が良く、良い出会いの場だった」など、アンケート結果も好評であった。
- 第2回ビジネスミートアップ&セミナー：6月7日（金）開催。当部副部長でもあり、診断士2年目から年収3,000万円も突破した実績を持つ菱山英弥会員より「補助金申請支援を始めたい方、採択率を上げたい方必見！採択実績約10億円の補助金申請を行うコンサルが教える、これからの補助金申請支援のポイント」をテーマに実施。96名が申込・参加。
会場とオンラインのハイブリッドで実施した。

続く

2024年度事業報告 事業推進部

- 第3回ビジネスミートアップ&セミナー：7月3日（水）開催。佐藤久美子会員より「公的業務にも民間業務も獲得できる！超実践的！中小企業診断士の販路開拓と顧客獲得術～本当に診断士で仕事が獲得できるのか悩む人必見！新人女性診断士もやれた秘訣はこれだ！～」をテーマに実施。75名が申込・参加。会場とオンラインのハイブリッドで実施した。

④ 新たな業務提携・事業創造の芽を創るための、外部機関へ働きかけを実施する。

- 経営者とのつながりを更に増やしていくため、経営者が集まる会に部員数名で参加し、3月のイベント誘致や会員へのビジネス機会拡大の模索を行う。

2024年度事業報告 実務従事支援部

《具体的取組》

① 中央支部会員へ多様な実務従事機会を提供する。

- ・年間を通じ Web マッチング案件 10 件提出を行った。
- ・東京協会マッチング案件に春5件・秋2件提出し、中央支部のみならず東京協会全体の実務従事機会を創出した。

② 実務補習案件の提出を図り支部会員の増強に努めた。

- ・東京協会実務補習運営委員会に委員を3名派遣（委員長1名・委員3名）しており、東京協会が実施する実務補習に協力した。
- ・中央支部における実務補習関連事務を実務従事支援部で担当し、支部長の実務補習指導員推薦業務や班編成の調整業務を支援した。
- ・令和7年～9年実務補習指導員登録推薦業務も実務従事支援部で担当し、42名の指導員推薦を支援した。
- ・令和6年7月～9月の実務補習案件5日コース16件・8日コース2件提出
- ・令和7年2月～3月の実務補習案件8日コース8件・15日コース4件提出

③ 指導員・副指導員登録の推進により実習指導者の人数面での拡大を図る。

- ・令和6年11月30日（土）に「実務従事指導員・副指導員ノウハウ継承セミナー」を開催し25名の参加を頂き、実務従事指導員・副指導員登録促進を図った。開催後指導員1名、51副指導員11名の新規登録を行った。今後も関係各位連携して指導員・副指導員のインストラクション技術の向上により診断実習品質の一層の充実を図る。

2024年度決算報告

2024年度決算報告（一般会計）

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,475,479	26,743,565	△ 11,268,086
未収金	8,000	0	8,000
前払金	1,470	0	1,470
本支部勘定（借方）	138,168	218,668	△ 80,500
前払費用	196,919	196,919	0
流動資産合計	15,820,036	27,159,152	△ 11,339,116
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
什器備品	392,660	523,547	△ 130,887
敷金	750,000	750,000	0
その他固定資産合計	1,142,660	1,273,547	△ 130,887
固定資産合計	1,142,660	1,273,547	△ 130,887
資産合計	16,962,696	28,432,699	△ 11,470,003

続く

2024年度決算報告（一般会計）

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	735,143	6,786,998	△ 6,051,855
未払費用	20,955	20,955	0
前受金	219,000	219,008	△ 8
預り金	2,158	27,040	△ 24,882
本支部勘定（貸方）	10,000	0	10,000
流動負債合計	987,256	7,054,001	△ 6,066,745
負債合計	987,256	7,054,001	△ 6,066,745
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	15,975,440	21,378,698	△ 5,403,258
正味財産合計	15,975,440	21,378,698	△ 5,403,258
負債及び正味財産合計	16,962,696	28,432,699	△ 11,470,003

2024年度決算報告（一般会計）

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
協会事業収益	[5,505,735]	[4,879,814]	[625,921]
イベント事業収益	4,454,245	3,654,910	799,335
支部事務所使用収益	477,174	798,800	△ 321,626
雑収入	571,342	426,081	145,261
受取利息	2,974	23	2,951
支部受取交付金	[12,854,357]	[12,519,307]	[335,050]
受取会費支部交付金	12,854,357	12,369,991	484,366
受取社会貢献事業支部交付金	0	149,316	△ 149,316
経常収益計	18,360,092	17,399,121	960,971

2024年度決算報告（一般会計）

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	[23,632,463]	[19,321,992]	[4,310,471]
会員関連事業費	(116,500)	(96,500)	(20,000)
会員慶弔費（非課税）	116,500	96,500	20,000
広報活動費	(0)	(252,265)	(△ 252,265)
会誌印刷費	0	133,650	△ 133,650
原稿作成費	0	43,519	△ 43,519
ホームページ管理費	0	75,096	△ 75,096
事業活動諸費	(23,515,963)	(18,973,227)	(4,542,736)
諸謝金	2,121,335	1,166,781	954,554
会議室・会場使用料	6,978,695	6,122,553	856,142
通信運搬費	286,188	310,730	△ 24,542
資料作成費	52,078	77,566	△ 25,488
広告宣伝費	1,721,524	242,000	1,479,524
消耗品費	118,035	30,348	87,687
外部団体会費	86,000	15,000	71,000

2024年度決算報告（一般会計）

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
外部団体会費	86,000	15,000	71,000
懇親会交流会費	886,649	875,771	10,878
活動支援費	483,557	351,846	131,711
旅費交通費	85,200	37,657	47,543
リース・レンタル費	53,690	52,260	1,430
事務所賃借料	2,145,072	2,145,072	0
水道光熱費	120,295	123,005	△ 2,710
租税公課	450	0	450
部会交通費	6,981,000	6,578,000	403,000
制作外注費	60,000	0	60,000
諸手数料	725,522	573,599	151,923
雑費	610,673	271,039	339,634
管理費	[130,887]	[130,887]	[0]
減価償却費	130,887	130,887	0
経常費用計	23,763,350	19,452,879	4,310,471
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,403,258	△ 2,053,758	△ 3,349,500

2024年度決算報告（一般会計）

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,403,258	△ 2,053,758	△ 3,349,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,403,258	△ 2,053,758	△ 3,349,500
一般正味財産期首残高	21,378,698	23,432,456	△ 2,053,758
一般正味財産期末残高	15,975,440	21,378,698	△ 5,403,258
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	15,975,440	21,378,698	△ 5,403,258

2024年度決算報告（一般会計）

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
協会事業収益	[13,935,000]	[5,505,735]	[8,429,265]
イベント事業収益	13,335,000	4,454,245	8,880,755
支部事務所使用収益	600,000	477,174	122,826
雑収入	0	571,342	△ 571,342
受取利息	0	2,974	△ 2,974
支部受取交付金	[12,770,000]	[12,854,357]	[△ 84,357]
受取会費支部交付金	12,770,000	12,854,357	△ 84,357
経常収益計	26,705,000	18,360,092	8,344,908

2024年度決算報告（一般会計）

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 経常費用			
事業費	[32,663,000]	[22,347,663]	[10,315,337]
会員関連事業費	(120,000)	(116,500)	(3,500)
会員慶弔費（非課税）	120,000	116,500	3,500
広報活動費	(3,074,000)	(0)	(3,074,000)
ホームページ管理費	54,000	0	54,000
Web会誌制作費	3,020,000	0	3,020,000
事業活動諸費	(29,469,000)	(22,231,163)	(7,237,837)
諸謝金	7,720,000	2,121,335	5,598,665
会議室・会場使用料	6,450,000	6,978,695	△ 528,695
通信運搬費	300,000	286,188	13,812
資料作成費	375,000	52,078	322,922
広告宣伝費	850,000	436,724	413,276
消耗品費	270,000	118,035	151,965
外部団体会費	60,000	86,000	△ 26,000

2024年度決算報告（一般会計）

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
懇親会交流会費	2,638,000	886,649	1,751,351
活動支援費	610,000	483,557	126,443
旅費交通費	0	85,200	△ 85,200
リース・レンタル費	0	53,690	△ 53,690
事務所賃借料	2,100,000	2,145,072	△ 45,072
水道光熱費	120,000	120,295	△ 295
租税公課	0	450	△ 450
部会交通費	7,156,000	6,981,000	175,000
制作外注費	0	60,000	△ 60,000
諸手数料	20,000	725,522	△ 705,522
雑費	800,000	610,673	189,327
管理費	[0]	[130,887]	[△ 130,887]
減価償却費	0	130,887	△ 130,887
経常費用計	32,663,000	22,478,550	10,184,450
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,958,000	△ 4,118,458	△ 1,839,542
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,958,000	△ 4,118,458	△ 1,839,542

続く

2024年度決算報告（一般会計）

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
一般会計中央

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,958,000	△ 4,118,458	△ 1,839,542
一般正味財産期首残高	0	21,378,698	△ 21,378,698
一般正味財産期末残高	△ 5,958,000	17,260,240	△ 23,218,240
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 5,958,000	17,260,240	△ 23,218,240

2024年度決算報告（収益事業）

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
収益事業中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,095,395	599,720	4,495,675
流動資産合計	5,095,395	599,720	4,495,675
資産合計	5,095,395	599,720	4,495,675
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	439,800	0	439,800
預り金	116,945	0	116,945
仮受金	1,925,000	0	1,925,000
流動負債合計	2,481,745	0	2,481,745
負債合計	2,481,745	0	2,481,745
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	2,613,650	599,720	2,013,930
正味財産合計	2,613,650	599,720	2,013,930
負債及び正味財産合計	5,095,395	599,720	4,495,675

続く

2024年度決算報告（収益事業）

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
収益事業中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
協会事業収益	[9,627,000]	[0]	[9,627,000]
会員向事業収益	9,625,000	0	9,625,000
雑収入	2,000	0	2,000
経常収益計	9,627,000	0	9,627,000
(2) 経常費用			
事業費	[7,613,070]	[0]	[7,613,070]
事業活動諸費	(7,613,070)	(0)	(7,613,070)
諸謝金	4,958,007	0	4,958,007
会議室・会場使用料	1,685,100	0	1,685,100
資料作成費	226,219	0	226,219
広告宣伝費	75,878	0	75,878
懇親会交流会費	189,000	0	189,000
部会交通費	357,000	0	357,000
諸手数料	12,855	0	12,855
雑費	109,011	0	109,011
経常費用計	7,613,070	0	7,613,070

続く

2024年度決算報告（収益事業）

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
収益事業中央

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
評価損益等調整前当期経常増減額	2,013,930	0	2,013,930
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,013,930	0	2,013,930
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,013,930	0	2,013,930
一般正味財産期首残高	599,720	599,720	0
一般正味財産期末残高	2,613,650	599,720	2,013,930
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,613,650	599,720	2,013,930

続く

2024年度決算報告（収益事業）

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
収益事業中央

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
協会事業収益	[0]	[9,627,000]	[△ 9,627,000]
会員向事業収益	0	9,625,000	△ 9,625,000
雑収入	0	2,000	△ 2,000
経常収益計	0	9,627,000	△ 9,627,000
(2) 経常費用			
事業費	[0]	[7,613,070]	[△ 7,613,070]
事業活動諸費	(0)	(7,613,070)	(△ 7,613,070)
諸謝金	0	4,958,007	△ 4,958,007
会議室・会場使用料	0	1,685,100	△ 1,685,100
資料作成費	0	226,219	△ 226,219
広告宣伝費	0	75,878	△ 75,878
懇親会交流会費	0	189,000	△ 189,000
部会交通費	0	357,000	△ 357,000
諸手数料	0	12,855	△ 12,855
雑費	0	109,011	△ 109,011
経常費用計	0	7,613,070	△ 7,613,070

続く

2024年度決算報告（収益事業）

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
収益事業中央

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異
評価損益等調整前当期経常増減額	0	2,013,930	△ 2,013,930
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	2,013,930	△ 2,013,930
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	2,013,930	△ 2,013,930
一般正味財産期首残高	0	599,720	△ 599,720
一般正味財産期末残高	0	2,613,650	△ 2,613,650
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	2,613,650	△ 2,613,650

2024年度内部監査委員報告

支部表彰者の発表について

表彰者の発表と表彰式は、12:30より、
支部カンファレンス オープニングにおいて
この会場で行います

新体制の説明

新執行体制

(任期：2026年6月東京協会総会まで)

正副支部長

支部長	高橋 利忠
副支部長	大根田 陽介
副支部長	大野 進一
副支部長	小島 慶亮
副支部長	西原 寛人
副支部長	松島 大介
副支部長	若林 和哉
副支部長	磯山 隆志
副支部長	金子 敦彦

監査委員

監査委員	伊藤 孝一
監査委員	鳥居 経芳

部 長

総務部長（兼任）	磯山 隆志
経理部長	金子 和博
広報部長	遠藤（星）多絵子
研修部長	小野田 直人
研究会部長	高久 雅樹
会員部長	江波戸 良光
青年部長	古川 里奈
国際部長	有吉 啓介
渉外部長（兼任）	金子 敦彦
ビジネス創造部長	齋藤 司昂
実務従事支援部長	水口 健

顧問・政策委員

顧問	小林 勇治
	小野 修一
	松枝 憲司
	八木 田鶴子
	兼子 俊江
	弥富 尚志
	佐藤 裕二
政策委員	遠藤 英彰
	中野 和彦
	鳥海 孝
	今宿 博史
	河合 正嗣
	佐藤 正樹
	金綱 潤
	鎌田 浩一

※敬称略 正副支部長、部長は執行委員を兼務
赤字は新任、黒字は再任

2025年度事業方針

2025年度支部事業方針

【基本方針】

テーマ：「挑戦」

新たな取り組みにチャレンジして、支部活動の活性化、診断士の知名度向上を図り、会員増強を目指します。会員満足度向上につながる魅力的なコンテンツを提供し、ビジネス機会の拡充に努めます。

KPI：会員数（2026年3月末、1,700人）
（チャレンジ目標は2,000人）

続く

2025年度支部事業方針

【活動指針】

- ① **支部会員増強**のための新たな取り組み
 - ・ **チューター制度の拡充**（新人以外にも対象を拡大）などにより、支部の魅力を高め会員増強を目指す。中小企業診断士に求められる知識やスキルの向上、施策の情報提供等のイベントやセミナー、研修等を各部において充実させる。
- ② **ビジネス機会の拡大**および**ダイバーシティ運営、社会貢献活動の推進**
 - ・ 東京協会公募案件への協力や外部支援機関、4区診断士会等との連携を通じて、ビジネス機会の拡大を図る。**企業内診断士などにも配慮**し、診断士活動に制約のある会員でも活動しやすいビジネス機会を提供していく。支部の人的資源を活用しつつ、ビジネス機会を通じた中小事業者への支援等により、診断士の知名度向上を図り、社会に貢献していく。

続く

2025年度支部事業方針

【活動指針】

③ 会員同志のコミュニケーション機能の充実

- ・ 人脈形成・拡大に資する機会として、イベントや認定研究会・マスターコース、同好会、4区診断士会、部会活動等への参画を促すことで会員同士の交流を深める。新入会員に対し、新設のチューター制度や個別相談会等のコミュニケーション機能を充実させる。

④ 支部会員の健康増進

- ・ 支部会員が健康的に活躍できるよう、健康増進施策を検討・実施する。健康増進に資するイベント活動・同好会活動に対する活動費支援を検討する。ファミリーイベントも実施する。

続く

2025年度支部事業方針

《具体的取り組み》

- ①ウィズコロナの時代に合わせて、支部活動のイベント・セミナーはリアルとオンラインあるいはハイブリッド型を併用していく。（環境変化に対応していく。）
- ②東京協会が定める新型コロナウイルス感染症に関する運営・運用基準や指針に準拠しつつ支部独自で判断・遂行可能な取り組みについては都度協議の上、行っていく。
- ③部長会と執行委員会そして各部の部会はリアル開催とオンラインあるいはハイブリット型の併用で行う。
- ④部長会に副部長が参加する方針は維持する。

続く

2025年度支部事業方針

《具体的取り組み》

- ⑤ 部長会は原則、毎月開催だが、年10回程度とする。また執行委員会は原則、年4回程度とし部長会と同時に行うようにし、正副支部長会議を別途、必要に応じて実施する。
→状況に応じて適宜変更する可能性がある。
- ⑥ 各部のイベントに、正副支部長が臨席するかは、開催部の要請がある場合に検討し、日程調整が可能かで決定する。
→正副支部長が任意で参加する場合は立場として挨拶等を行うようにする。
- ⑦ スタジオ化した支部事務所の効果的、効率的な利用を推進する。

続く

2025年度支部事業方針

《具体的取り組み》

- ⑧実務補習指導員の発掘と育成を強化するために副指導員を増やしていく取組を進める。
- ⑨各部は積極的に部員の増員強化、副部長の増員等を進める。
- ⑩情報管理機能を強化すべく、情報管理委員会の下部組織として総務部内に情報管理タスクを設ける。管掌は松島副支部長。

続く

2025年度支部事業方針

コンプライアンスの順守

- ・ビジネス機会をアサインするにあたり、**誓約書徴求などを検討する。**

＜具体例＞

納期を守ること…約束した訪問日時、報告書の提出期限の厳守
診断士（社会人）らしい行動に努めること…ビジネスマナー
勧誘行為を行わないこと…原則禁止。お客様と人間関係が構築され、
お客様が希望する場合を除く

- ・支部活動のなかで、**会員に特定のマスターコースや研究会への勧誘をしない。**

支部活動は公的活動であることを認識する。マスターコースや研究会は支部内では私的な活動となる。公私混同しない。

続く

2024年度報告【反省点】

社外取締役養成講座の運営で不備

- 当初、一般会計で会計処理しようとした。
（最終的に、収益事業として処理）
- 都協会が広告を使い他県協会の会員を勧誘するのは如何なものか。
- 協会主催の講座が特定受講生個人の社外取締役就任をプロモートするのは不適切ではないか。
- 稟議書対応の遅れ。
- 中央支部のガバナンス不全。

続く

2025年度支部事業方針 社外取締役養成講座の反省を踏まえて

《改善策》

①副支部長の2名増員。

②中央支部業務改善プロジェクト（仮称）

メンバー：副支部長全員、金子経理部長

- ・支部ガバナンス体制の再構築
- ・議論のための情報共有の徹底
- ・東京協会規定に沿った支部運用方針等の早期見直し
- ・再発防止策の策定と未然防止策の策定
- ・支部全体の運営をきちんと「組織化」していくための仕組みづくり

6・7月までに改善策を取りまとめて報告する。

③規程の理解促進

勉強会開催、東京協会規程集の閲覧可能者を拡大。

2025年度事業計画

《方針》

- ① 東京協会最大のイベントであるスプリング・フォーラムを中央支部会員強化の重要な取組みの一つと位置づけ、他プロジェクトや部会と連携して、新入会員の獲得を図る。

《具体的取り組み》

- ① 2025 年4 月5日（土）開催 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
- ② 支部新入会員及び入会検討者を歓迎し、中央支部への入会を促進する。
 - ・ 中央支部の魅力を知ってもらい、中央支部に期待を持って新しい仲間に加わってもらえるような支部紹介を実施する。
 - ・ 新入会員、未入会員向け相談会に対応する。（支部長、実行委員）
 - ・ 当日入会を歓迎する中央支部の二次会を開催する。

続く

- ③ スプリング・フォーラムから支部カンファレンス等の支部イベントと連携して、支部や協会活動への参加に繋げる。
 - ・ スプリング・フォーラムから支部カンファレンスへ、さらに新人歓迎イベントへと連携して誘導を行い、支部や協会活動への参加を促し、定着化を図る。
- ④ プロジェクト会議開催計画
 - ・ 2 回開催予定/年

2025年度事業計画 中央支部大会

《方針》

- ① 2024年度事業内容、決算状況、監査結果を報告する。
- ② 2025年度事業方針、執行部体制、活動計画、予算内容を報告する。

《具体的取り組み》

- ① 2025 年4 月26日（土）会場とオンラインのハイブリッド開催
- ② 式次第
事業報告／決算報告／監査報告
支部長方針／事業計画（執行部体制含む）／予算報告

《方針》

- ① 新入会員・既存会員の参加を促進し、資質向上に資する研鑽の機会、ビジネス機会の創出、人脈形成・拡大に資する機会を提供する。
- ② スプリング・フォーラムなどと連携をして未入会、新会員の支部活動への参画を促す。支部イベントへの誘導にもつなげる。
- ③ 開催方法は、会場とオンラインのハイブリッド開催を前提とする。

《具体的取り組み》

① 2025 年4 月26日（土）午後 会場：秋葉原 UDX（予定）

- ・ 支部大会を午前中に開催し、カンファレンスは午後に単独開催とする。
- ・ 参加費は無料とし、参加者増加の促進を図る。
- ・ 交流会参加者のみ有償とする。

② 会員活動活性、会員獲得のため、部の枠組みを超えたチームにより活動を推進する。

③ 多様な企画を提供する。

- ・ スキルアップ、ビジネスのきっかけ、人脈形成につながるイベントを実施し、多様なニーズを持つ会員の参加を促す。

④ プロジェクト会議開催計画

- ・ 7 回開催予定/年

《方針》

- ① 春のスプリング・フォーラムとともにオータム・フォーラムにおいても中央支部会員強化の重要な取り組みとして、他プロジェクトや部会と連携して、新入会員の中央支部への入会を促進する。
- ② オータム・フォーラム以降の支部イベントへの誘導にもつなげる。

《具体的取り組み》

- ① 2025 年10月開催 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（予定）

- ② 支部新入会員及び入会検討者を歓迎し、中央支部への入会を促進する。
 - ・ 中央支部の魅力を知ってもらい、中央支部に期待を持って新しい仲間に加わってもらえるような支部紹介を実施する。
 - ・ 新入会員、未入会員向け相談会に対応する。（支部長、実行委員）
 - ・ 当日入会を歓迎する中央支部の二次会を開催する。

- ③ オートム・フォーラムから秋まつり等の支部イベントと連携して、支部や協会活動への参加に繋げる。
 - ・ オートム・フォーラムから秋まつりへ、さらに新人歓迎イベントへと連携して誘導を行い、支部や協会活動への参加を促し、定着化を図る。

- ④ プロジェクト会議開催計画
 - ・ 2 回開催予定/年

2025年度事業計画 中央支部まつり（秋まつり）

《方針》

- ① 新入会員の入会促進及び既存会員の活性化するため、中央支部の魅力を共有できるイベントを開催する。
- ② 中小企業診断士のキャリア形成や心身の健康に資する行事を基本とする。

《具体的取り組み》

- ① 中小企業診断士のキャリアを発揮・披露するイベントと研究会・MC・同好会紹介等のキャリア形成・研鑽機会の提供を行う。
- ② プロジェクト会議開催計画
・ 7回開催予定/年

2025年度事業計画 支部合宿プロジェクト

《方針》

- ① 再度、合宿の在り方をゼロベースで内容検討。少人数（4～5名程度のキックオフメンバー）で行う。（懇親の場としての合宿 or 支部会員の質的向上の場としての合宿の位置づけ）
- ② 部長会合宿、執行委員合宿、一般会員を交えた拡大形式で行うかの合宿の規模感と支部行事の中で意味付けを検証する。
- ③ 最適な実施時期（冬期であれば従来通り次年度計画策定と重なり、質的向上の研修的な場合は春～夏が適している）の確認を行う。また2026年合宿は新たな執行体制発足直前の段階であり、新任部長や新任執行委員の参加も期待できるため、支部執行のための教育・研修の場とすることも検討する。

続く

2025年度事業計画 支部合宿プロジェクト

- ④ 実施場所・会場の検討（＋内容によってはハイブリッド形式で開催可能か）を行う。
- ⑤ スムーズでストレスのない合宿の実施。
- ⑥ コア会議、分科会を含めて 12回程度の会議開催。
- ⑦ 現段階で 2026年支部合宿（2025年度支部合宿）は従来通りの形であれば 2026年 1月 17日（土）～18日（日）で実施予定。

2025年度事業計画 新年賀詞交換会プロジェクト

《方針》

- ① より多くの会員が参加できるように事務所開きに代わり、新年賀詞交歓会を別会場にて開催する。
- ② 新年を祝い、会員間の親睦を深める機会を提供する。新たな人脈形成やネットワーキングの強化、とくに新入会員にとっては、他の会員と知り合う貴重な場として提供する。
- ③ 2024年度（2025年新年賀詞交歓会）の実施結果を踏まえ、来賓招待の有無、実施場所・会場の検討を行う。
- ④ プロジェクトメンバーは会員部を主体とし、関連する部会に協力を依頼する。

2025年度事業計画 チューター制度検討プロジェクト

《方針》

- ① 新入会員の入会促進及び活動の活性化のため、必要な情報・相談・交流の機会を提供する。
- ② 特に、1年目の歩きかた、企業内診断士の資格を活かしたキャリアアップ、既存会員の活動リスタートなどを意識して取組んでいく。
- ③ 新入会員が支援期間中にマスターコース・研究会・部会・同好会・イベントのいずれかに参加することを目標とする。

続く

2025年度事業計画 チューター制度検討プロジェクト

《具体的取り組み》

- ① 執行委員や若手診断士を中心に、チューターを 20人程度募り、春と秋に募集する参加希望者に対して支援をしていく仕組みを作る（1グループにチューター2名と新入会員5名を想定）。
- ② チューター制度の説明会・顔合わせ会・全体イベントの他、年間 4回程度グループごとの相談会を実施する。
- ③ プロジェクト会議開催計画
 - ・ 6回開催予定/年（チューター向け説明会、進捗確認などを含む）
 - ・ 各グループの相談会（10グループ×各4回を予定）

2025年度事業計画 情報管理委員会

《方針》

- ① 中央支部情報管理体制の安定運用を図る。
- ② 情報利活用の更なる推進を図る。
- ③ 中央支部個人情報保護体制を検討、構築する。

《具体的取り組み》

- ① グループウェア運用管理者業務を担当する。
- ② グループウェアヘルプデスク業務を担当する。
- ③ 中央支部の情報システムに関する情報を提供する。
- ④ アンケート結果等をもとに、会員情報管理方法ならびにグループウェア運用の改良を総務部と連携し実施する。
- ⑤ 中央支部個人情報保護管理台帳を作成する。
- ⑥ 委員会会議開催計画 ・ 2 回開催予定/年

2025年度事業計画 支部表彰者選考委員会

《方針》

- ① 2025 年度の支部功労者の表彰について検討し、表彰者候補を選出、表彰委員会に推薦をする。
 - ・ 表彰の規模・範囲を決定する。定量的のみならず、定性的評価さらにテーマ別定性評価を実施する。

《具体的取り組み》

- ① メンバーは表彰規定における幹事となる。テーマ別定性評価も実施する。
- ② 委員会会議開催計画
 - ・ 3 回開催予定/年

2025年度事業計画 ビジネス推進委員会

《方針》

- ① 中央支部にかかる収益事業の推進と運営管理、東京協会等への専門家推薦を行い、支部会員にビジネス機会の提供を行う。

《具体的取り組み》

- ① 支部長を補佐して東京協会のビジネス案件推薦や各種機関への専門家紹介を行い、以て支部の推薦機能にガバナンスを効かせる。
- ② ビジネスアサインに当たっての留意点等知識向上の機会を作る。
- ③ 支部監査（業務監査）の受検アサインプロセスについて監査を受ける。
- ④ 委員会会議開催予定適宜

2025年度事業計画 社会貢献事業委員会

《方針》

- ① 支部会員が社会貢献事業に関われるよう、必要な情報や相談機会を提供する。

《具体的取り組み》

- ① 東京協会が募集している社会貢献事業推進案件について、応募が増えるよう支部会員への啓蒙活動をしていく。
- ② 支部として商店街支援を企画して、希望する会員と支援を実施する。
- ③ 委員会会議開催計画
・ 8 回開催予定/年

2025年度事業計画 総務部

《方針》

- ① 支部のインフラに係る業務の、適切な運営を行う。
- ② 総務部の活動（総務部長活動を含む）の効率化と業務量適正化を図る。
- ③ タスク別の担当者会議を効果的に開催する。
- ④ 総務部で扱う各種情報の管理機能を強化する。
- ⑤ 支部会員の健康増進に資する施策を実施する。

《具体的取り組み》

- ① 大会・執行委員会・部長会、顧問政策委員会議の円滑な運営
 - ・ 効率的な会議開催案内資料の作成と配賦
 - ・ 効率的な議事録作成業務の実施

2025年度事業計画 総務部

② 支部事務所管理業務の円滑な運営

- ・ 備品の入れ替えに伴い事務所共同維持管理のルールの見直しを実施する。
- ・ 事務所備品の整備・管理を進める。
- ・ 事務所予約業務の効率化を進める。
- ・ 事務所スマートロック、複合機、防犯カメラの運用管理の改善を進める。
- ・ コロナウイルスの感染状況を踏まえた事務所管理を行う。

③ 支部の各種規程類の管理

- ・ 「支部規則」他、規程類の問題点抽出と見直しを継続する。

④ 総務部主管行事等の企画運営

- ・ 支部大会の円滑な運営を行う。
- ・ 支部表彰の円滑な運営を行う。
- ・ 顧問政策委員会の配膳・運営の実施
- ・ 支部会員の健康増進に資するイベントの実施

続く

2025年度事業計画 総務部

⑤ 支部広報への協力

- ・従来どおり、eニュース、支部メルマガの「お知らせ」コンテンツ作成に協力する。

⑥ 各種メンバーの募集・推薦等に関わる協力

- ・東京協会専門家登録制度への登録業務の協力を行う。

⑦ 情報管理タスクによる情報管理機能の強化

- ・情報管理委員会と連携した総務部で扱う各種情報の効果的共有とバックアップ、セキュリティ確保
- ・支部役職者、部員、プロジェクトメンバーの統合名簿管理
- ・支部各部門スケジュールの統合管理
- ・各部会交通費の集計

続く

2025年度事業計画 総務部

⑧ 契約書管理

- ・ 中央支部で管理すべき契約関連書類の管理ルールを定め、管理する。

⑨ 「中央支部早わかりガイド」の整備と活用。

- ・ 一部リニューアルした冊子化製作を春季に実施し、年間を通じたイベント等での効果的な配布化を図る。
- ・ 支部サイト版のサイトアップを進める。

⑩ 支部監査（業務監査）の受検

- ・ 10月（期中）、4月（年度）の監査を受ける。

⑪ 部会開催予定

- ・ 6 回開催予定/年

2025年度事業計画 経理部

《方針》

- ① 経費精算手順の仕組み化による、支部予算執行の可視化を推進する
- ② 年度末未払い額の圧縮
- ③ 支部インフラ保全を担当する総務部に協力する
- ④ 改正電子帳簿保存法への対応
- ⑤ インボイス制度への対応
- ⑥ 会費納付率の向上を図る（前年比 1%アップを目標）
- ⑦ 通常経理業務、監査対応など

続く

2025年度事業計画 経理部

《具体的取り組み》

- ① G a r o o nを使った精算業務の効率化、かつ、正確性を維持する
- ② 交通費支払いの効率化を図るなど、体制を整える
- ③ 引き続き、総務部に協力して支部備品類の保全等を図る
- ④ 東京協会経理部会と東京協会事務局と連携しつつ、経理部員に組織の動きを伝え適切な活動を行うこと
- ⑤ 支部会員と東京協会事務局と連携しつつ、適切な経理処理が行えるように準備する

続く

2025年度事業計画 経理部

⑥ 支部監査（会計監査）の受検

- ・ 10月（期中監査）、4月（決算監査）の監査を受ける

⑦ 部会開催予定（通常部会 4回、監査準備部会 2回）

- ・ 6 回開催予定／年

2025年度事業計画 広報部

《方針》

- ① 会員が知りたい情報を、いち早くわかりやすく提供する。
- ② 外部向けの情報発信を強化し、中小企業診断士の活動内容を伝える。
- ③ ホームページをリニューアルすることにより、会員満足度の向上及び中小企業診断士の活躍を伝える。

《具体的取り組み》

- ① ホームページをリニューアルして、読みやすく伝わりやすい情報を届ける。

続く

2025年度事業計画 広報部

- ② 会員が知りたい情報、広報に求める内容を収集・精査し、発信する。
- ③ 中央支部 WEBサイトの管理・運営、コンテンツを充実させる。
 - ・ 各部主催イベントの告知・報告、経営者向け情報の投稿等を適時掲載する。
 - ・ 会員の知りたい情報・外部に訴求する情報が何かを常に見直し、更新する。
 - ・ アクセス時の利便性向上、サイトのセキュリティ強化のための工夫を行う。
 - ・ 動画コンテンツなど、オンライン強化に向けた情報提供を行う。
- ④ e ニュース、支部メルマガ等を編集・発刊する。
 - ・ 上記メルマガにて、各部主催セミナーや東京協会主催イベント等の告知を実施する。
 - ・ 全会員に配信される eニュースの利点を活かして、サイトの更新情報や会員のメリットになる情報など、プッシュ型の情報提供手段として活用する。
 - ・ 支部メルマガにて、経営者に役立つ情報および中小企業診断士の活動を知っていただく。

続く

2025年度事業計画 広報部

- ⑤ 中央支部パンフレット等の外部向け発信媒体の整備を行う。
- ⑥ TOKYO SMECAニュースデジタル原稿の取り纏めと編集を行う。
- ⑦ 広報部体制の充実を図る。
 - ・ ML活用・広報部会等により更なる活性化を行う。
 - ・ 他の部会と連携して、中小企業診断士の活動を伝える。
 - ・ 各イベントに写真撮影として参加し、適切な情報を各部と共有する。
- ⑧ 部会開催予定
 - ・ 6回開催予定/年

2025年度事業計画 能力開発推進部

《方針》

- ① 支部活動方針、支部会員ニーズに沿った実践ノウハウの明確化と中小企業診断士の能力向上に資する研修を開催し、能力向上の機会を提供する。
- ② 他の部会や支部とも連携して力を結集して会員のスキルアップに貢献する。

《具体的取り組み》

- ① 「能力開発基礎セミナー」を年 10回程度開催する。支部会員ニーズ（アンケート等）を参考に中小企業診断士の能力向上に資する基礎知識を提供する。
- ② 中小企業診断士が身に付けるべき能力をスキルマップとしてまとめ、その時に必要な研修を提供する。

続く

2025年度事業計画 能力開発推進部

- ③ 「能力開発基礎セミナー」の参加者に対して、更なる能力向上の手段として、中央支部公認のマスターコースや研究会、外部のセミナーや研修を紹介する。
- ④ 東京協会配下で支部を問わずコラボイベントなどに協力する。
- ⑤ イベント・研修ニーズ、東京協会の動きを踏まえた研修ツールを作成する。
- ⑥ 部会は隔月に実施し、うち 2 回程度をリアル開催とする。
- ⑦ 副部長を再定義し、作業負荷の分散と活動の活性化を図る。

2025年度事業計画 研究会部

《方針》

- ① 認定研究会・マスターコース（以下 MC）の活性化を通じて、会員ニーズである診断スキル向上・人脈拡大等に貢献する。

《具体的取り組み》

- ① イベントを開催する。
 - ・ 東京協会開催イベント（スプリングフォーラム・オータムフォーラム）での研究会・MCブースの出展を取りまとめる。
 - ・ 中央支部イベントでの研究会・MCの説明会を開催する。（カンファレンス・秋まつり）
- ② 広報部と協力して会員への情報提供を行う。
 - ・ 中央支部メールマガジンの研究会・MC紹介記事を取りまとめる。
 - ・ 中央支部 WEBサイトの更新を受付ける。
 - ・ TOKYO SMECAニュース研究会開催案内を取りまとめる。
 - ・ 中央支部チャンネル（YouTube）への研究会・MCの動画投稿を促進する。

続く

2025年度事業計画 研究会部

③ 研究会・MCの管理を行う。

- ・研究会・MCの新規認定、認定更新、登録事項変更等の手続きを行う。
- ・研究会・MC代表者会議を開催する。
- ・補助金基準に基づき、研究会に 補助金を支給する。

④ 東京協会 社会貢献事業へ参加する中央支部研究会・MCの募集、促進を行う。

⑤ 研究会・MCの設立を支援する。

⑥ 部会開催予定

- ・2回開催予定/年

2025年度事業計画 会員部

《方針》

- ① 会員の獲得・維持に関わる活動に取り組む。
- ② 会員交流の活発化、会員キャリア構築につながるイベントの企画運営に取り組む。

《具体的取り組み》

- ① 会員の獲得・維持に関する活動を企画運営する。
 - ・新入会員・未入会者向けイベントとして「診断士スタートダッシュセミナー」等を開催する。
 - ・新入会員・未入会者情報の収集・更新を行い、各プロジェクトと連携する。
 - ・会員数の増減の把握、会員ニーズアンケートの実施など会員情報の運用管理に取り組む。

続く

2025年度事業計画 会員部

- ② 会員および会員家族の交流活発化のための既存会員向けイベントを企画運営する。
 - ・ 様々なテーマの交流型イベントを実施する。
 - ・ 他の部会と連携したイベントを実施する。
- ③ 育児介護と診断士活動や会員キャリアに資するイベント等を企画運営する。
- ④ 同好会の管理を行う。
 - ・ 同好会の新規認定、認定更新、登録事項変更等の手続きを行う。
- ⑤ 部会開催予定
 - ・ 4回開催予定/年

2025年度事業計画 青年部

《方針》

- ① 若手会員および会員家族のキャリア構築、交流の場を提供し、若手会員の活性化を図る。
- ② 若手会員が活躍する場の提供・拡大を図る。
- ③ 若手会員の東京協会中央支部への入会促進、定着化を図る。

《具体的取り組み》

- ① 若手経営者との交流イベントを開催する。
 - ・ 新しい考え方などで改革を推進している若手経営者、リーダーを複数名招き、若手会員と交流イベントを開催する。
 - ・ 商工会議所等の青年部組織との連携も推進する。

続く

2025年度事業計画 青年部

- ② 若手会員および会員家族の交流イベントを開催する。
 - ・若手会員向けに、スポーツやビジネスゲーム等の交流を主目的としたイベントを開催する。
- ③ 若手会員を中心とした情報交換会を定期開催する。
 - ・中央支部の若手会員、特に支部活動に積極的な会員に対して、ビジネスセミナーへの登壇機会を提供する。
 - ・若手会員向けに定期的な交流の場を提供することで入会促進と定着化を図る。
- ④ 他団体の青年部組織等との交流を行う。
- ⑤ 商工会議所や他県診断士協会・東京協会他支部等との情報交換を行う。
- ⑥ 部会開催予定
 - ・4回開催予定/年

2025年度事業計画 国際部

《方針》

「海外に関わる中小企業診断士の知見向上を目指した機会の提供」

《具体的取り組み》

- ① 海外の事案や中小企業の海外展開支援に関心ある中小企業診断士に役立つ、事業・イベントの開催と情報提供を行う。
- ② さまざまな知見を持つ人たちとの交流を増やし、また海外展開支援に関わるノウハウやコンサルテーション技法を共有する。

続く

2025年度事業計画 国際部

- ③ 東京協会、および中央支部の会員として、国際派中小企業診断士活動の活性化を図る。

(取り組み委細)

- ・ 国際オープンセミナーを開催する（年 1回）。
- ・ 国際派診断士リーダー養成講座（通称：国際社中）を開催する（年 3回）。
- ・ 中央支部 HPに海外関連情報（通称：グローバル・ウィンド）を投稿する（毎月 2本程）。
- ・ 東京協会国際部主催の事業・イベントの主管として企画・実施運営を行う。
- ・ 会員アンケート結果等から事業・イベントに関わるニーズ・ウォンツを把握し、部員の強みを活かし、さらに磨いた新旧事業・イベントの企画・実施運営を行う。

2025年度事業計画 渉外部

《方針》

- ① 4 区行政・公的支援機関が主管する中小企業者の支援事業に協力することで中央支部会員に有益な業務情報を収集する。
- ② 4 区診断士会との連携と協力関係を維持するとともに知己のある金融機関や行政機関・商工会議所等への訪問を行い関係性の維持を図る。
- ③ 東京協会活動に部員を派遣し協力することで地域や政策等の情報収集の精度を向上させていく。
- ④ 会員ニーズにあるビジネス機会の創出を図っていくために他の機関との連携を模索する。

続く

2025年度事業計画 渉外部

《具体的取り組み》

- ① 東京シティプラットフォーム及び他の金融機関等の連携強化活動に協力する。
 - ・ 支援要請内容に応じて支部の機能・人材を活用し適宜協力する。
- ② 東京商工会議所の 4区支部事業と本部事業の各種事業やイベントに協力する。
 - ・ 各診断士会と連携して要請事項に対して協力する。
- ③ 4 区診断士会・中央総研との連絡会議を年 4回開催し、各区の状況の情報交換を行う。

続く

2025年度事業計画 渉外部

- ④ 他の部会・プロジェクト等との協業事業又は社会貢献活動支援についての検討を継続的に行い、案件を発掘する活動を行う。
- ⑤ 部会開催予定
 - ・ 4回開催予定/年

2025年度事業計画 事業推進部

《方針》

- ① 支部にチャレンジのエネルギーを注入し、支部会員の意識を変え、前に進める事業機会を創造し、それを広く伝えていく。
- ② 民間企業や士業家、経営者、ビジネスパーソン、他の部の対象ではない公的分野等と複合的なネットワークを創造する。
- ③ 支部会員にマッチング機会とビジネスチャンス、そこで通用する能力向上の場を支部会員に提供し、新しい事業につなげる。
- ④ 支部で社会に貢献する活動を幅広く推進し、社会課題を解決するための支部活動を発掘、支援する。

続く

2025年度事業計画 事業推進部

《具体的取り組み》

- ① 会員のビジネス機会を創造するための、ビジネスマッチングイベント、ワークショップイベント、懇親会を実施する。
 - ・ 民間の研修やセミナーの企画運営会社、出版社との支部会員向け共同イベントを実施する。（年 1回）。
 - ・ 経営者との共同イベントを通じて経営者のネットワーク化を図る。（年 1回）。
 - ・ 他士業家との共同イベントを通じてネットワーク化を図る。（年 1回）。
 - ・ 講師オーディションの復活、実施方法も変更し、研修会社・セミナー会社と会員が繋がり実際の登壇に直接つながる機会を創出する（年 1回）
- ② ビジネスパーソンとの交流、講師の発掘、会員のビジネス意識の向上、ビジネスに関しての交流のための、セミナーやイベントを実施する。
 - ・ 会員及びビジネスパーソン向けビジネスミートアップ&セミナーを実施する。（年 4回）

続く

2025年度事業計画 事業推進部

- ③ 新たな業務提携・事業創造の芽を創るための、外部機関へ働きかけを実施する。
- ・ 共同でイベントを行う民間研修会社、セミナー会社、出版社、新たな公的機関等を発掘する。
 - ・ 経営者の会や他土業協会とのネットワーク構築を強化し、当部イベントはもちろん、支部イベントでの連携につなげる土台を作る。
 - ・ 新たな収益事業を行うチャンスを取り込むための、外部・他土業とのアイデア検討イベントを実施する。 ※上記①の他土業家との共同イベントと統合する可能性あり。
- ④ 部会開催予定
- ・ 9回開催予定/年

2025年度事業計画 実務従事支援部

《方針》

- ① 会員の経営診断・助言実務への従事を促進し、実務従事ポイントの獲得を支援し、資格更新をサポートする。
- ② 中小企業診断士登録の実務従事要件を満たすための実務補習に関する支部業務を実施する。
- ③ 実務補習・実務従事事業の指導員・副指導員の質・量両面にわたる充実を図る。

続く

2025年度事業計画 実務従事支援部

《具体的な取り組み》

- ① 会員に対して多様な実務従事機会を提供する。
 - ・ 東京協会実務従事支援部に部員を派遣し、東京協会が実施する実務従事事業に協力する。
 - ・ 研究会部や渉外部と連携し、東京協会実務従事事業以外の実務従事機会の情報を提供する。
 - ・ 要件を充たす会員に対しては、特に副指導員としての実務従事機会の拡大を図る。
- ② 支部から十分な量の実務補習案件を提供し、実務補習案件の質の充実を図り、円滑な実務補習関連事務の支援を行う。
 - ・ 東京協会実務補習運営委員会に委員を派遣し、東京協会が東京地区本部として実施する実務補習に協力する。
 - ・ 中央支部における実務補習関連事務を実務従事支援部で担当し、支部長の実務補習指導員推薦業務や班編成の調整業務を業務委員会・渉外部と連携して支援する。

続く

2025年度事業計画 実務従事支援部

- ③ 実務補習・実務従事の指導員・副指導員登録の推進により実習指導者の人数面での拡大を図るとともに、指導者のインストラクション技術の向上により診断実習品質の一層の充実を図る。
- ・実務補習の指導員については、実務補習実施時期にあわせて追加の指導員登録を推進するほか、時期を定めて臨時登録の受付を行う。
 - ・実務補習の副指導員については、指導員に対して副指導員の積極的な任用を依頼するとともに、副指導員としての経験を希望する人材を予備登録し、副指導員として任用するように指導員に推薦する仕組みを構築する。
 - ・実務従事事業の指導員・副指導員については、TOKYO SMECAニュースに継続的に登録の案内を掲載するほか、支部会員に対して定期的にメールでの登録案内を行う。
 - ・イベント形式による指導員・副指導員希望者へのスキル向上機会を提供する。
 - ・上記各施策のほか、登録要件を充たした人材に対し、指導員・副指導員への登録を個別に勧誘する。
 - ・指導員・副指導員のインストラクション技術の情報を共有する機会を設ける。

続く

2025年度事業計画 実務従事支援部

④ 部会活動の充実を図る。

- 中央支部から東京協会の実務補習運営委員会に派遣されている委員に実務従事支援部へ所属していただくことにより、実務補習と実務従事に関するノウハウの融合を図り、両方の事業の向上につなげる。
- 部会を年度中に 6回程度開催する。※部会は原則としてオンライン開催とする。

2025年度予算報告

2025年度予算報告

■ 2025年度 中央支部年度予算

(単位：千円)

項目		収益	費用	収支
一般会計	部会予算	15,680	14,737	943
	委員会・プロジェクト予算	4,310	11,756	-7,446
収益事業	社外取締役養成講座 (2025年4月～5月)	1,925	1,901	24
中央支部全体予算		21,915	28,394	-6,479

中央支部 部会予算												
	総務部	経理部	広報部	能力開発推進部	研究会部	会員部	青年部	国際部	渉外部	事業推進部	実務従事 支援部	合計
収益計	600	13,000	0	868	0	110	292	360	0	450	0	15,680
支出計	5,568	265	1,385	1,209	1,070	881	525	1,960	362	1,228	284	14,737

中央支部 委員会・プロジェクト予算															
	スプリング フォーラム 2025 新入会員 歓迎会 (春大会)	中央支部 カンファレンス 2025	オータム フォーラム 2025 支部独自 イベント	支部まつり等 実行委員会	支部 合宿PJ	情報管理 委員会	支部表彰者 選考委員会	正副支部長 会議PJ	ビジネス推進 委員会	社会貢献事業委 員会	チューター 制度検討PJ	健康増進 活動支援PJ	同好会 活動支援PJ	賛詞交歓会 外部会場化PJ	合計
収益計	0	900	0	360	2,500	0	0	0	0	0	0	0	0	550	4,310
支出計	144	3,570	144	2,094	2,850	33	33	88	140	600	550	300	130	1,080	11,756

コンプライアンス研修について

コンプライアンス室について

※コンプライアンス室は会長直下の組織として
協会運営及び個々の会員の活動に関わる法令などの遵守、
活動に不可欠な情報ツールの適切な利用の啓蒙を行います

東京協会 コンプライアンス宣言



一般社団法人東京都中小企業診断士協会の役職員および会員中小企業診断士は、高い倫理観と責任感をもって、コンプライアンスを遵守し誠実に行動していくことで、中小企業をはじめ行政・中小企業支援機関・金融機関等からの期待に正面から応え、地域社会への貢献を目指すことを宣言します。

- 1 法令や東京協会諸規程類を遵守し、社会規範にもとることのない誠実かつ公正な活動を行います。
- 2 人権尊重・差別禁止・ハラスメント禁止等を徹底します。
- 3 行動規範を遵守し、業務上の相手方等との健全な関係を保ちます。
- 4 機密情報、個人情報等を適切に管理し、情報を漏洩したり、目的外の使用はいたしません。
- 5 反社会的勢力との関係は持ちません。

続く

コンプライアンス室の主な活動

東京協会の本部、支部
におけるコンプライアンス
の周知と遵守の徹底

- コンプライアンス意識の向上・啓蒙
- コンプライアンス研修の実施
- 情報セキュリティ研修の実施

コンプライアンス関連の
ルール／マニュアルの
整備

- コンプライアンスマニュアルの整備
- 情報セキュリティマニュアルの整備
- コンプライアンスに関する情報収集・分析

コンプライアンスに関わ
る通報への対応

- 通報への対応

コンプライアンス相談窓口

compliance@t-smeca.com

コンプライアンス研修(eラーニング)は**2024年4月改訂版**を全員受講してください

協会活動への参加はコンプライアンス研修の受講を条件としています

続く

コンプライアンス研修について

田中 敬夫

ポータル

お知らせ

1. 情報整理に関するお知らせ

東京協会の公式情報アプリをカテゴリー別に整理しましたので、目的のアプリが不明な方は、以下の各アプリからお入りください。

東京協会の公式情報アプリ				
I. 診断業務に役立つ情報	II. 研修情報	III. 実務機会の参加情報	IV. 東京協会情報等	V. 東京協会業務 (利用者制限)

このページの下

アプリ

2. コンプライアンス室からのお知らせ

2.1 コンプライアンス研修を受講される会員の皆様へ

コンプライアンス研修「e-ラーニング研修」視聴方法が変わりました。

下記添付ファイル「コンプライアンス研修 e-ラーニングの視聴方法.pdf」に記載の説明に従って操作してください。

コンプライアンス研修 e-ラーニングの視聴方法v4.pdf (2023/05/24更新)

2.2 会員向け情報セキュリティマニュアルを改訂しました。会員の方は必ずご一読ください。(2023/6/21更新)

ここをクリックすると
コンプライアンス関連研修動画
(情報セキュリティセミナー動画)
コンプライアンス関連研修情報
(マニュアル及び関連資料)
が格納されています

ここでも
コンプライアンス研修(e-ラーニング)
の受講方法が確認できます
研修のリンクは(2024.4～)を選んでください

コンプライアンス室2022

【三多摩】地域研究会

【東京】実務従事支援部

【東京協会】コンプライアンス研修受講実績

【東京協会】部員会

【実務従事】2023春季マッチング会 案件説明データ提出...

【旧東京協会HP会員ページ】東京協会からのお知らせ情報

質疑応答

閉会宣言